

平成27年度全国学力・学習状況調査
調査結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課

平成27年10月

目次

	ページ
1 調査目的	1
2 調査対象者・実施日・調査内容	1
3 倉敷市の学力の特徴	2
(1) 平均正答率の比較	3
(2) 正答数分布の比較	5
(3) 学校別平均正答率の様子	11
(4) 設問別の概要・分析	13
(5) 平均正答率が全国平均を上回り、その差が大きい問題から	44
(6) 平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から	55
4 児童生徒質問紙から見える特徴	74
(1) 各質問事項の肯定的な解答の割合	75
(2) 肯定的な回答の割合が全国平均より高い質問	79
(3) 肯定的な回答の割合が全国平均より低い質問	80
(4) 質問ごとの分析	81
5 総括	84
(1) 学力調査の結果から	85
(2) 児童生徒質問紙の結果から	86
(3) 考察	86

平成27年度 全国学力・学習状況調査について

1 調査目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査対象者・実施日・調査内容

(1) 調査対象者

市立小学校63校	第6学年児童	4,509人
市立中学校26校	第3学年生徒	4,272人

(2) 実施日 平成27年4月21日(火)

(3) 調査内容

- ①教科に関する調査(国語及、算数・数学、理科)
 - ・A問題(主として「知識」に関する問題)
 - ・B問題(主として「活用」に関する問題)
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒質問紙(児童生徒に対する調査)
 - ・学校質問紙(学校に対する調査)

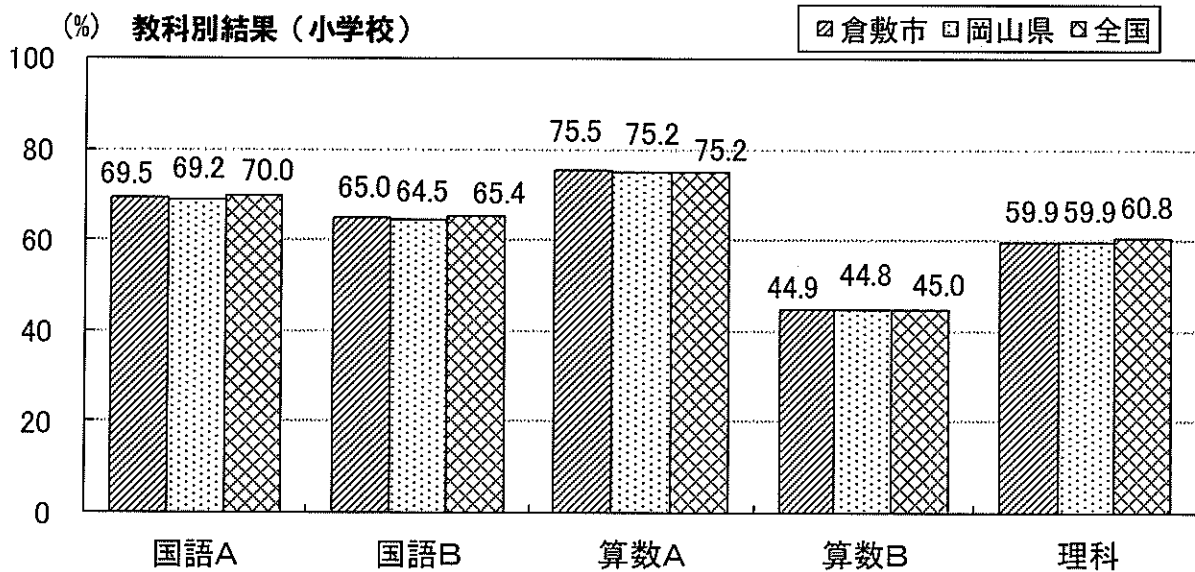
本報告書の数値は、国立・私立学校を除く、公立学校の数値のため、他の報告書等で公表されている数値と、小数点以下のポイントに多少の差異が生じている場合がある。

3 倉敷市の学力の特徴

(1) 平均正答率の比較

【小学校】

教科	国語A			国語B			算数A			算数B			理科
	H27	H26	H25	H27	H26	H25	H27	H26	H25	H27	H26	H25	
倉敷市平均	69.5	71.7	62.0	65.0	54.9	48.7	75.5	77.8	74.3	44.9	55.6	58.0	59.9
岡山県平均	69.2	71.4	61.4	64.5	54.5	47.7	75.2	77.8	74.6	44.8	56.6	57.2	59.9
全国平均	70.0	72.9	62.7	65.4	55.5	49.4	75.2	78.1	77.2	45.0	58.2	58.4	60.8
県との差	+0.3	+0.3	+0.6	+0.5	+0.4	+1.0	+0.3	0.0	-0.3	+0.1	-1.0	+0.8	0.0
国との差	-0.5	-1.2	-0.7	-0.4	-0.6	-0.7	+0.3	-0.3	-2.9	-0.1	-2.6	-0.4	-0.9



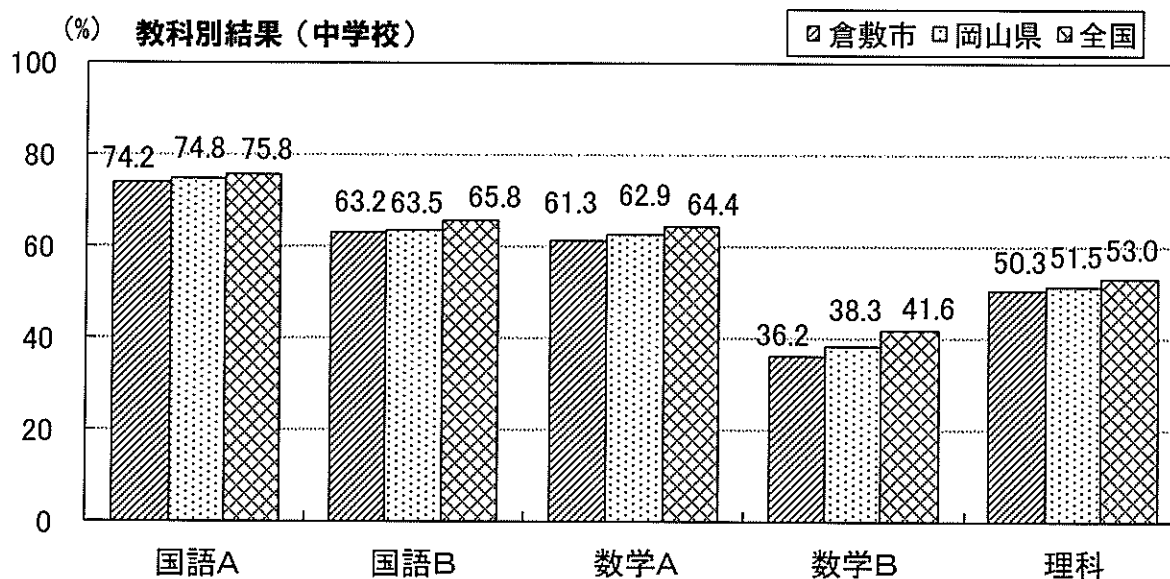
○H27の倉敷市の平均正答率について、H26と比較すると、国語Aでは-2.2ポイント、算数Aでは-2.3ポイントで、基礎問題では大きな差はない。国語Bでは、平均正答率が+10.1ポイント、算数Bでは-10.7ポイントで、活用問題では大きな差が見られ、難易度が影響していると考えられる。

○H27の県平均との比較では、国語AB・算数ABの4領域すべてで、+0.1ポイントから+0.5ポイント上回っている。理科の平均正答率は、県平均と同じ59.9%となっている。

○H27の全国平均との比較では、算数AでH25は-2.9ポイントだったが、H27は+0.3ポイントとなり、全国平均を上回った。国語AB、算数BでもH26と比較して、全国平均との差が縮まっており、国語・算数の4領域で平均-1.2ポイントだったが、H27は-0.2ポイントとなっている。

【中学校】

教科	国語A			国語B			数学A			数学B			理科
	H27	H26	H25	H27	H26	H25	H27	H26	H25	H27	H26	H25	
倉敷市平均	74.2	77.0	75.9	63.2	46.8	66.4	61.3	63.4	61.6	36.2	53.8	39.4	50.3
岡山県平均	74.8	78.2	76.4	63.5	48.1	66.4	62.9	65.4	62.8	38.3	55.9	40.3	51.5
全国平均	75.8	79.4	76.4	65.8	51.0	67.4	64.4	67.4	63.7	41.6	59.8	41.5	53.0
県との差	-0.6	-1.2	-0.5	-0.3	-1.3	0.0	-1.6	-2.0	-1.2	-2.1	-2.1	-0.9	-1.2
国との差	-1.6	-2.4	-0.5	-2.6	-4.2	-1.0	-3.1	-4.0	-2.1	-5.4	-6.0	-2.1	-2.7



○H27の倉敷市の平均正答率について、H26と比較すると、国語Aでは-2.8ポイント、数学Aでは-2.1ポイントで、基礎問題では大きな差はない。国語Bでは、平均正答率が+16.4ポイント、数学Bでは-17.6ポイントで、活用問題では大きな差が見られ、難易度の違いが影響していると考えられる。

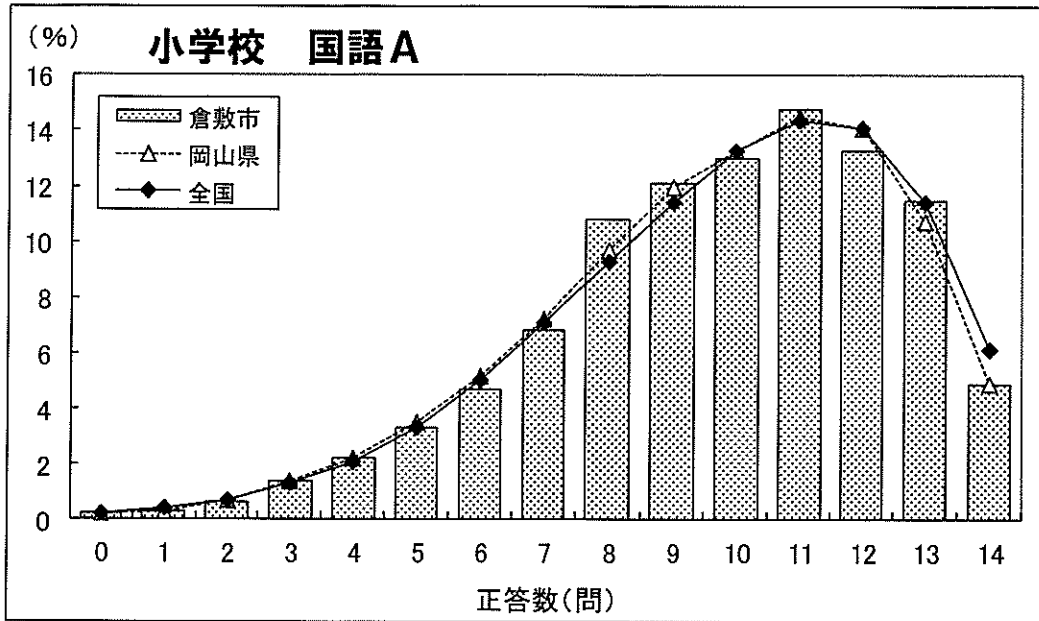
○H27の県平均との比較では、各領域で-0.3ポイントから-2.1ポイントとなっているが、H26の差と比較すると、国語AB・数学Aで差が縮まっており、改善が見られる。

○H27の全国平均との比較では、各領域で-1.6ポイントから-5.4ポイントであるが、H26の差と比較すると国語AB・数学ABの4領域すべてで差が縮まっており、改善が見られる。

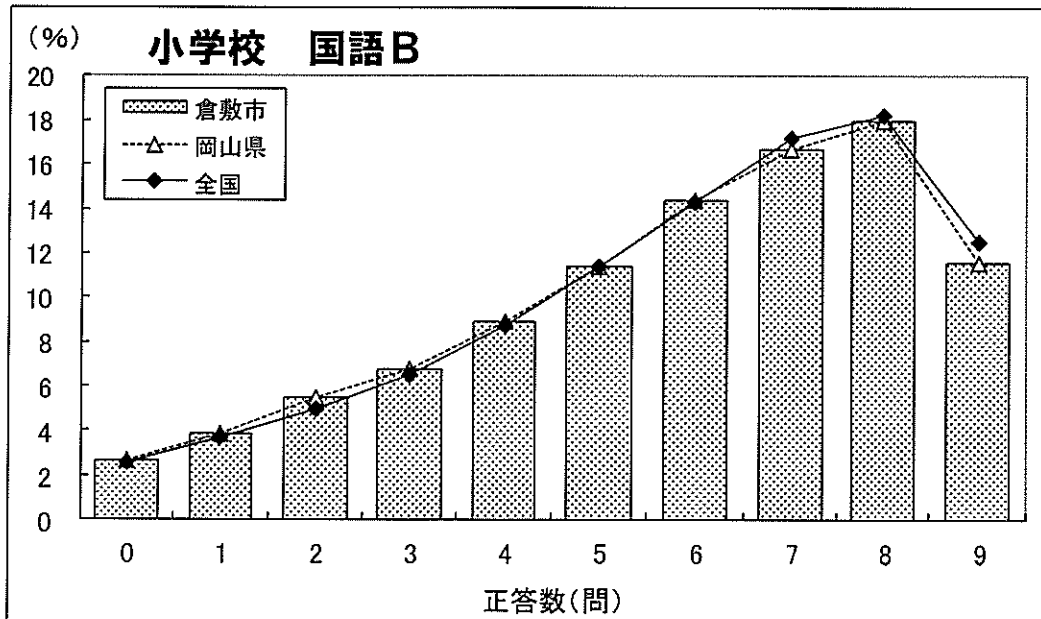
○県平均や全国平均との差に、改善が見られるものの、依然としてすべての領域で下回っており、特に数学Bに課題がある。

○理科では、県平均と比べて-1.2ポイント、全国平均と比べて-2.7ポイントとなっている。

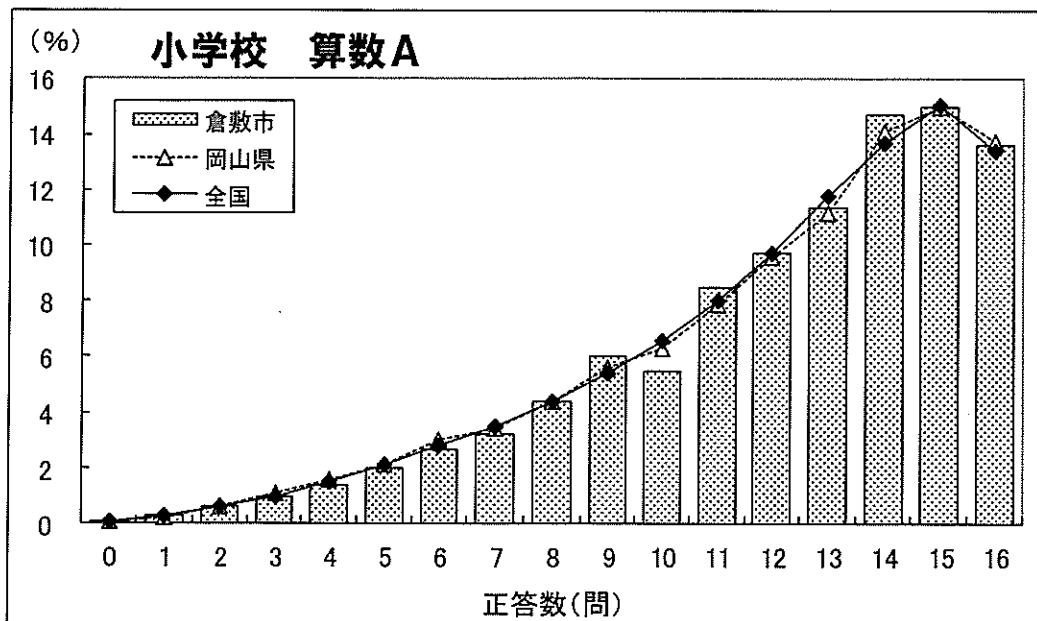
(2) 正答数分布の比較



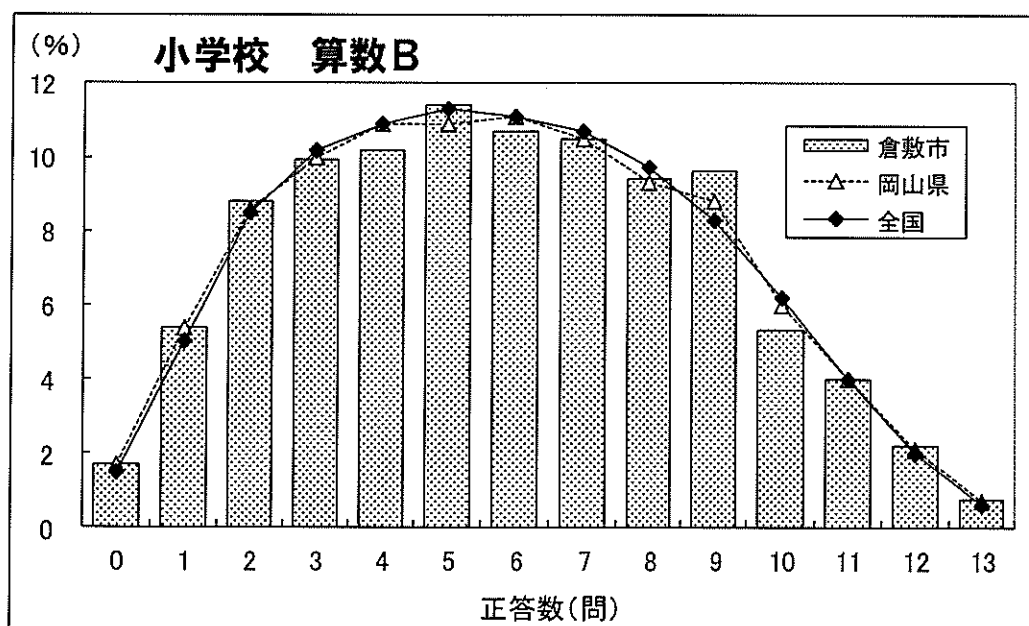
- 岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。(平均正答率の差: +0.3ポイント)
- 全国と比べると、全14問中14問正答の上位層の割合がやや低く、8問~9問正答の中位層の割合がやや高い。(平均正答率の差: -0.5ポイント)
- 中央値は、全国・岡山県・倉敷市ともに10となっている。



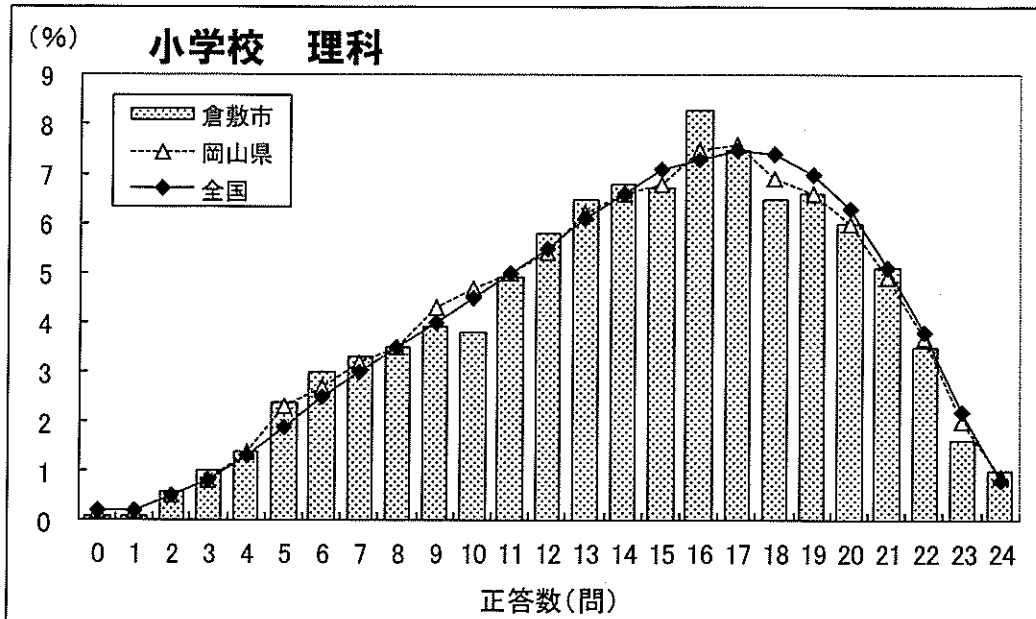
- 岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。(平均正答率の差: +0.5ポイント)
- 全国と比べると、9問中9問正解の上位層の割合が、やや低い。(平均正答率の差: -0.4ポイント)
- 中央値は、全国・岡山県・倉敷市ともに6となっている。



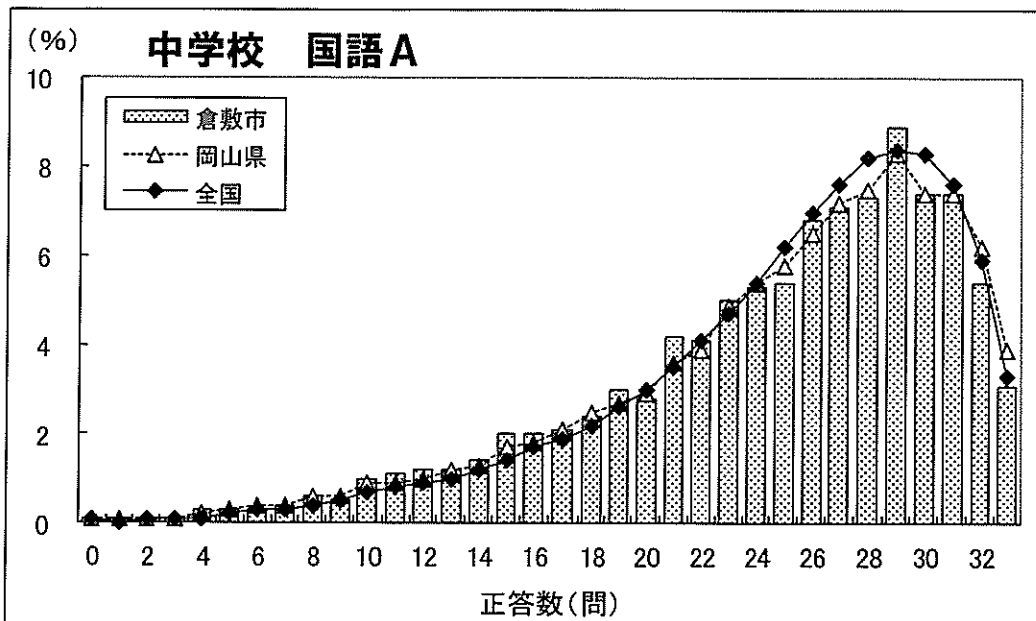
- 全国，岡山県と比べると，ほぼ同様な正答数分布となっている。(全国・県との平均正答率の差：+0.3ポイント)。
- 平均正答率が全国平均を上回っており，全国に比べて，上位層に位置する14問正答の割合が高く，中位層に位置する10問正答の割合が低いのが特徴である。
- 中央値は，全国・岡山県・倉敷市ともに13となっている。



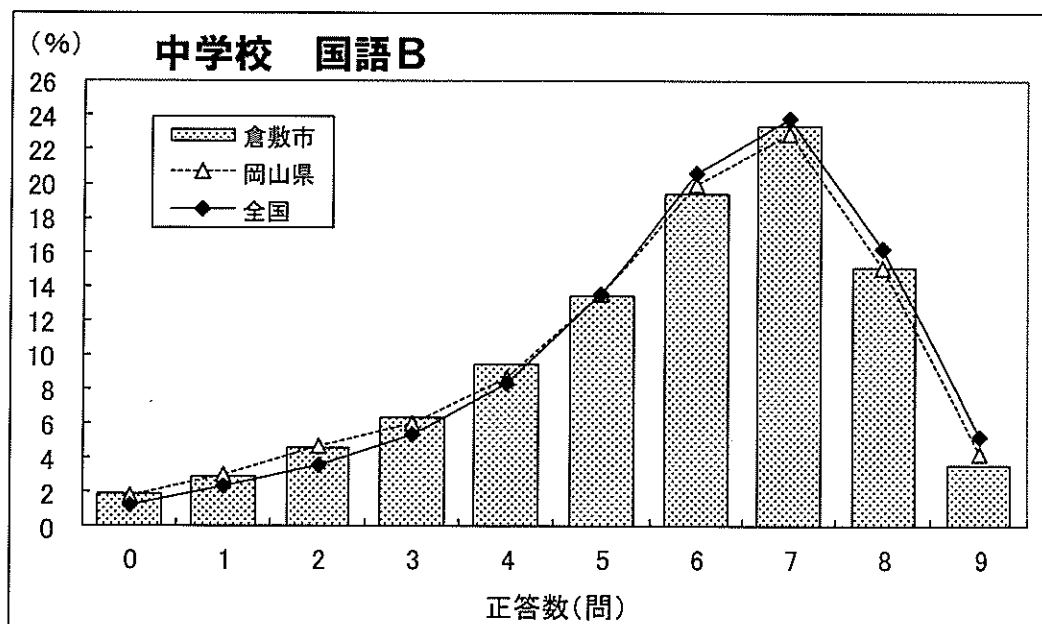
- 全国，岡山県と比べるとほぼ同様な正答数分布となっている。(全国との平均正答率の差：-0.1，岡山県との平均正答率の差：+0.1)
- 上位層に位置する10問正答の割合が，全国及び岡山県よりやや低く，下位層に位置する2問・3問正答の割合がやや高い。
- 中央値は，全国・岡山県・倉敷市ともに6となっている。



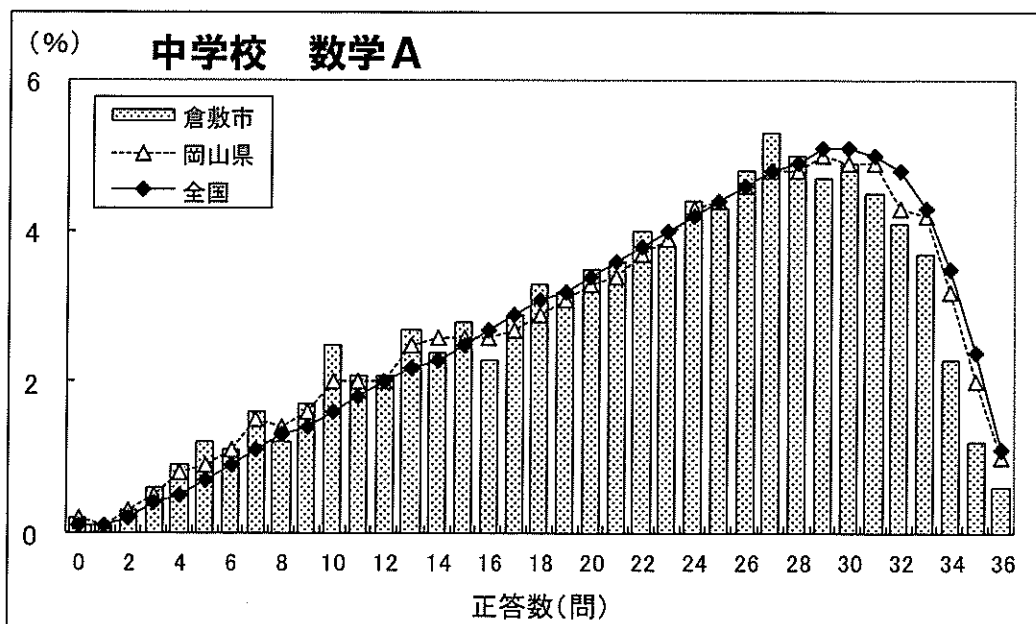
- 全国、岡山県と比べるとほぼ同様な正答数分布となっている。(全国との平均正答率の差：-0.9, 岡山県との平均正答率の差：±0)
- 全24問中上位層に位置する23問正答の割合が、全国及び岡山県よりやや低く、中位層に位置する16問正答の割合がやや高い。
- 中央値は、全国・岡山県・倉敷市ともに15となっている。



- 全国、岡山県と比べるとほぼ同様な正答数分布となっている。(国との平均正答率の差：-1.6ポイント、県との平均正答率の差：-0.6ポイント)
- 全国・岡山県と比べると、上位層に位置する30問以上の正答の割合がやや低く、下位層の割合がやや高い。
- 中央値は、全国・岡山県・倉敷市ともに26となっている。

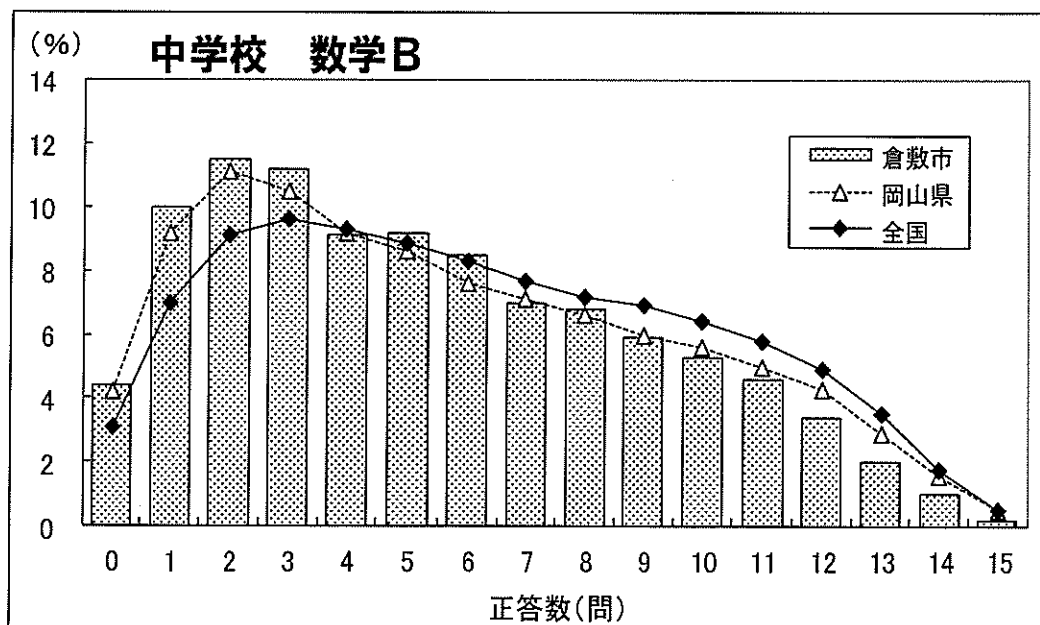


- 岡山県と比べるとほぼ同様な正答分布となっている。(平均正答率の差：-0.3ポイント)
- 全国と比べると、上位層の割合が低く、中・下位層の割合が高い。(平均正答率の差：-2.6ポイント)
- 中央値は、全国・岡山県・倉敷市ともに6となっている。



○全国・岡山県と比べると，上位層の割合が低く，下位層の割合が高い。(全国との平均正答率の差：-3.1ポイント，県との平均正答率の差：-1.6ポイント)

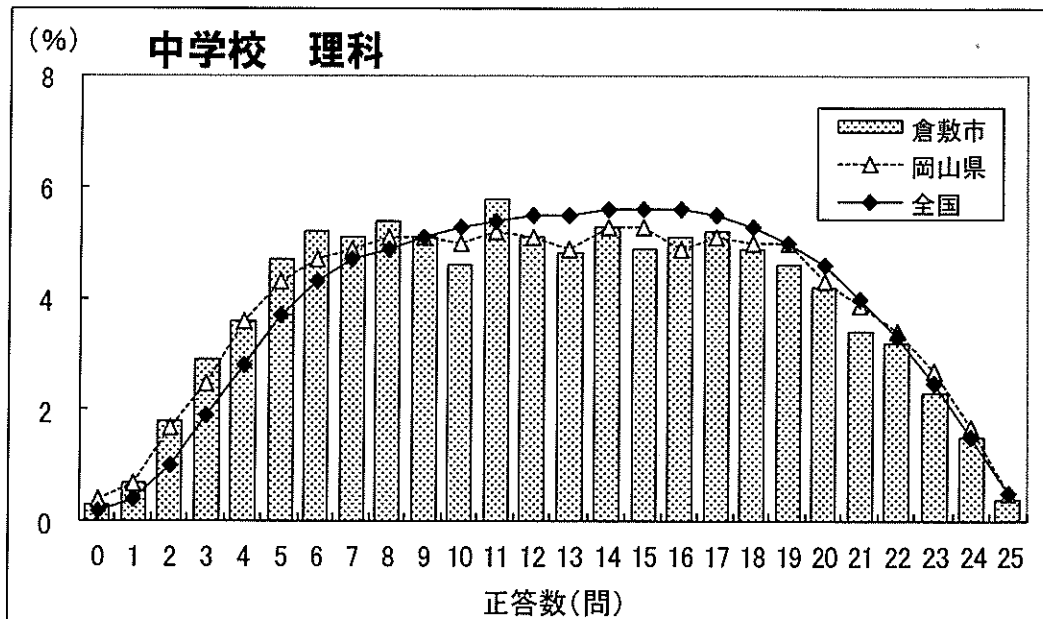
○中央値は，全国 24・岡山県 24 に対して，倉敷市は 23。



○岡山県と比べると，ほぼ同様な正答分布になっている。(平均正答率の差：-2.1ポイント)

○全国と比べると，上・中位層の割合が低く，下位層の割合が高い。(平均正答率の差：-5.4ポイント)

○中央値は，全国 6・岡山県 5 に対して，倉敷市は 5。

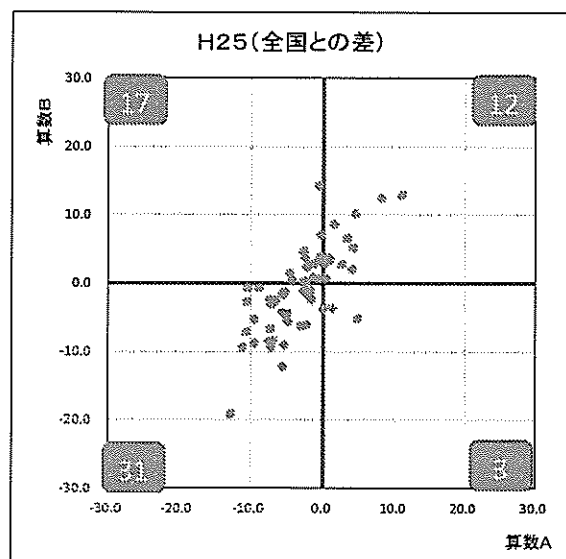
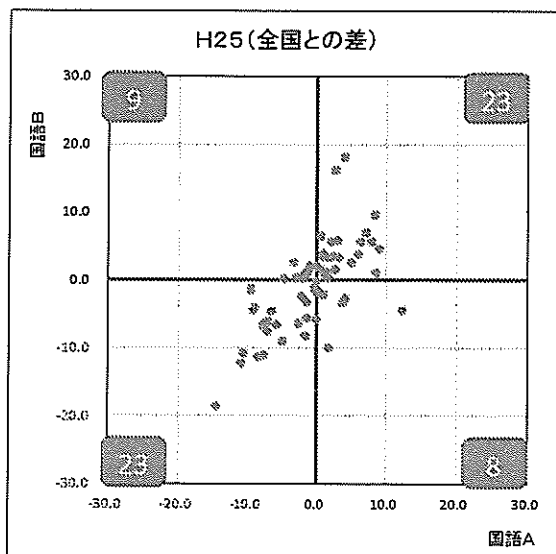
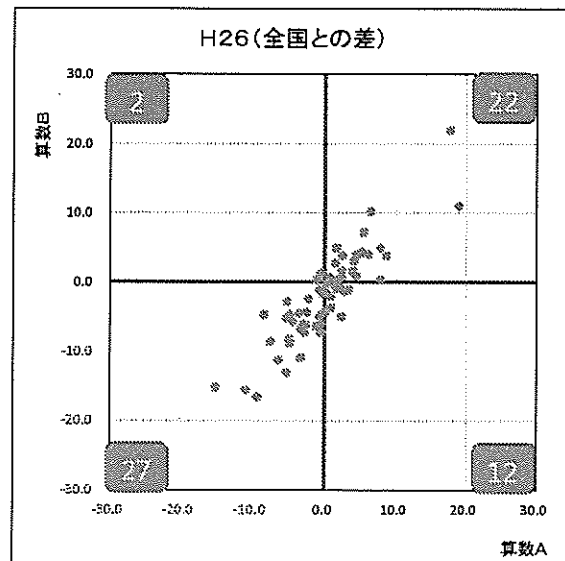
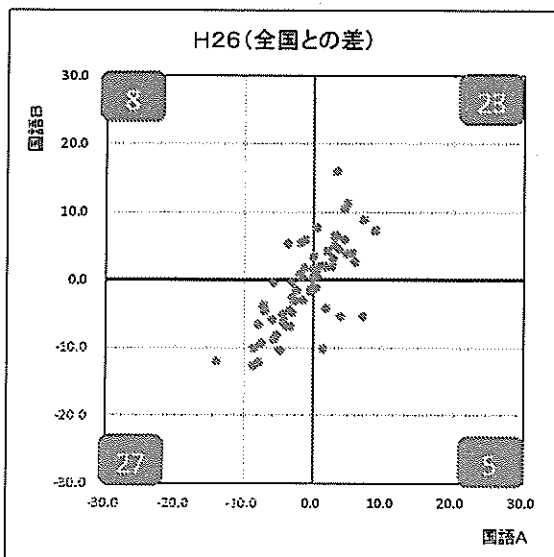
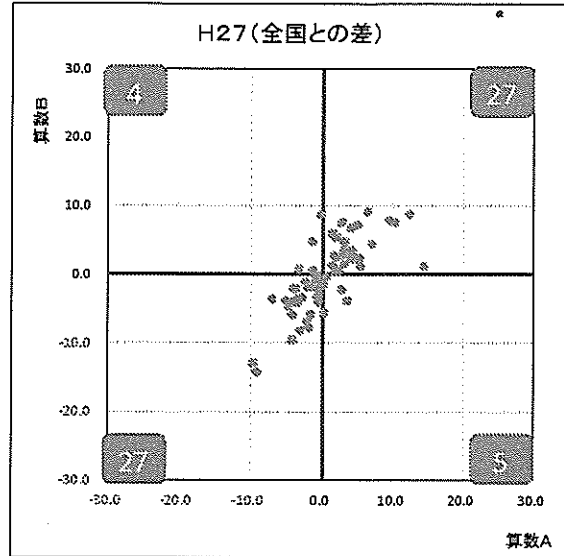
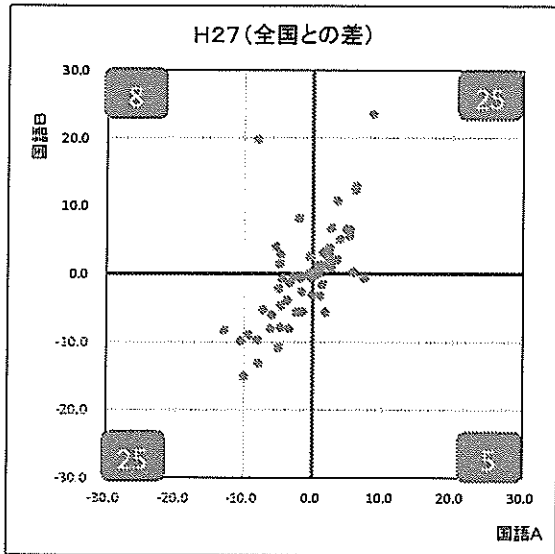


○全国と比べると、上中位層の割合が低く、下位層の割合が高い。(平均正答率の差：-2.7ポイント)

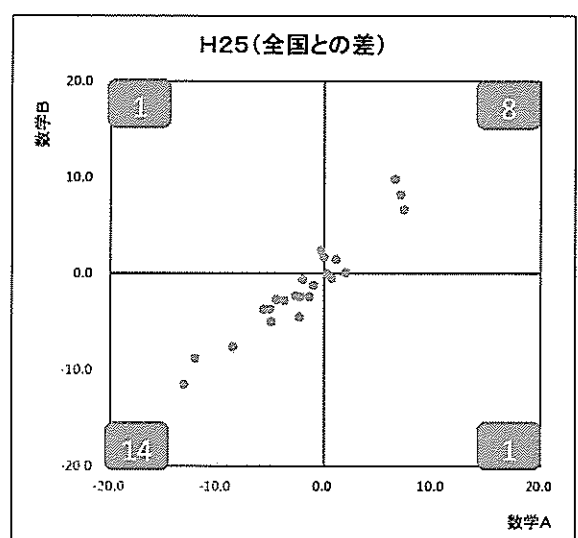
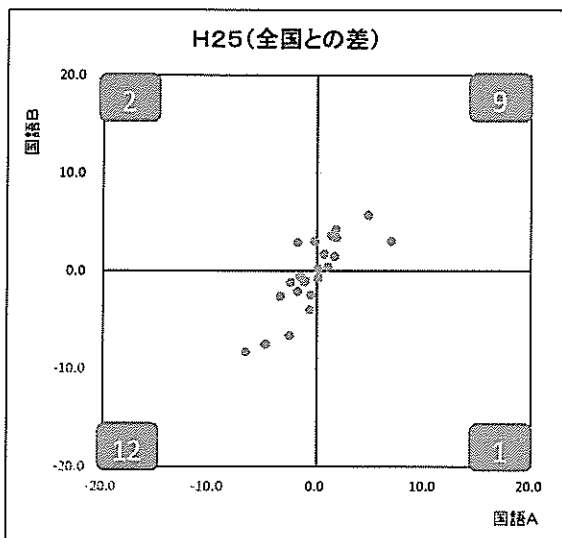
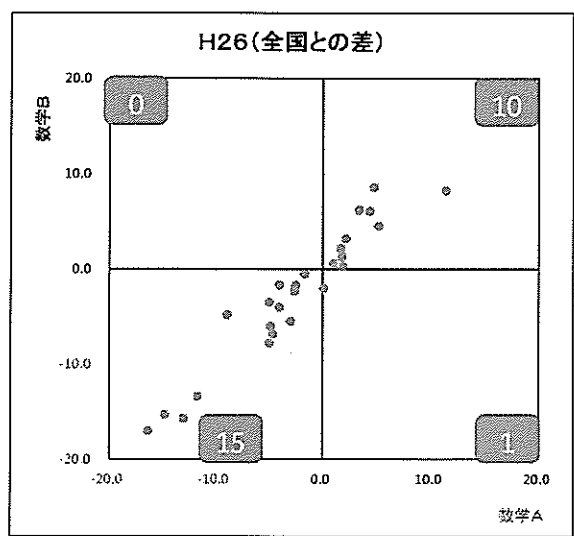
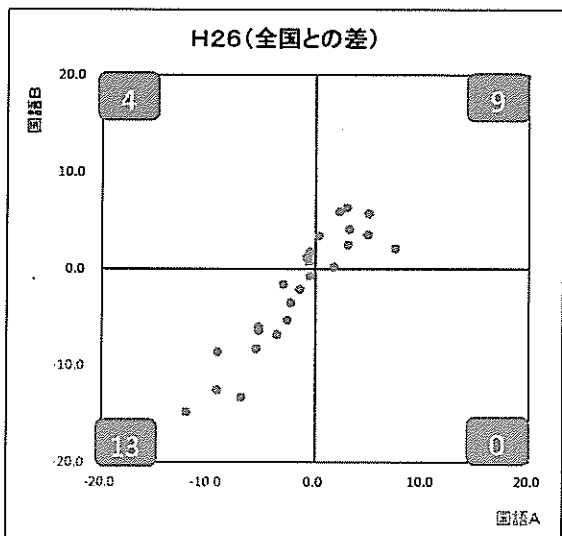
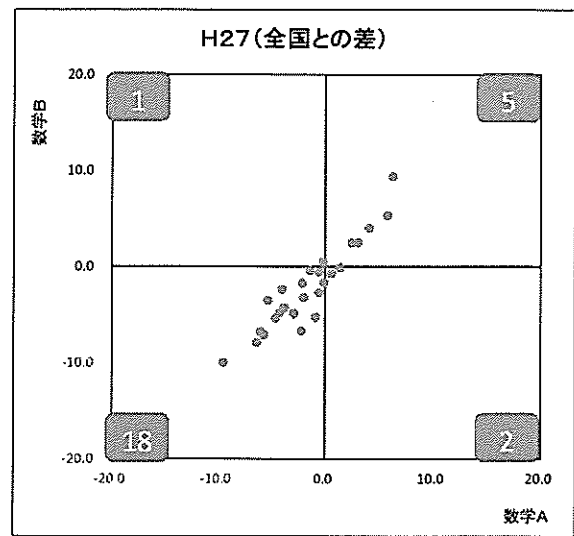
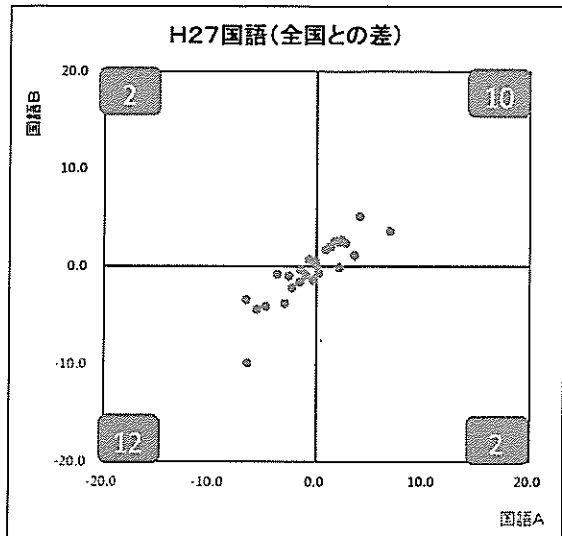
○岡山県と比べると、ほぼ同様な正答分布になっている。(平均正答率の差：-1.2ポイント)

○中央値は、全国 13・岡山県 13 に対して、倉敷市は 12。

(3) 学校別平均正答率の様子 【小学校】



(3) 学校別平均正答率の様子 【中学校】



- 小学校国語については、3年間の変化を比較すると、全国平均を下回る学校数は、減少していないが平均正答率の差は縮まっている。A B問題それぞれに全国平均を大きく上回る学校が増えている。
- 小学校算数については、学校間の学力のばらつきが徐々に解消されるとともに、A B問題ともに全国平均を上回る学校数も増加しており、全体的に学力の底上げが見られる。
- 中学校国語については、全体的に全国平均に近いところに集中しており、学校間の学力のばらつきは解消される方向に向っていると考えられる。
- 中学校数学については、全国平均との差が徐々に小さくなっているものの、A B問題ともに全国平均を上回る学校数が増加していない。

(4) 設問別の概要・分析【設問順】

【小学校 国語A：主として知識】

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号 [問題掲載 ページ]	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点					正答率(%)					無解答率(%)			グラフ(正答率:国との差)		
			ア	イ	ウ	エ	オ	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差		優先順位	
1-1	漢字を読む (友人を察に置く)						○	97.6	97.7	97.5	0.1	0.5	0.6	0.7	-0.2	10	-10.0	+10.0
1-2	漢字を読む (自分の正念をづらぬく)	学年別漢字配当表に示されている 漢字を正しく読む					○	95.9	95.8	96.0	-0.1	0.5	0.9	0.9	-0.4	9		
1-3	漢字を読む (全員がすぐに気づいた)						○	94.5	93.0	92.5	2.0	1.6	2.2	2.5	-0.9	12		
1-1	漢字を書く (シャワーを飲む)						○	58.8	62.3	58.4	0.4	11.5	12.6	17.2	-5.7	11		
1-2	漢字を書く (鳥の足を観察する)	学年別漢字配当表に示されている 漢字を正しく書く					○	73.2	74.4	76.5	-3.3	4.5	5.1	5.7	-1.2	3		
1-3 (P44)	漢字を書く (ひょうごいふに行く)						○	83.9	76.6	74.9	9.0	1.5	3.1	4.7	-3.2	14		
2-1	文の主語として適切なものを選択する						○	50.8	51.1	53.1	-2.3	0.3	0.6	0.6	-0.3	5		
2-2	文の型として適切なものを選択する						○	70.3	70.5	71.7	-1.4	0.3	0.5	0.5	-0.2	8		
3 (P44)	聞き方の説明として適切なものを選択する						○	55.7	54.4	53.0	2.7	0.3	0.4	0.5	-0.2	13		
4	説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する						○	83.2	84.2	86.0	-2.8	0.2	0.3	0.3	-0.1	4		
5-1	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまともなものを 選りよる						○	57.9	57.0	59.5	-1.6	1.4	1.7	1.6	-0.2	7		
5-2 (P54)	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く						○	15.6	15.2	19.8	-4.2	5.6	7.0	7.7	-2.1	1		
6	登場人物の関係性についての説明として適切なもの を選択する						○	65.8	65.9	67.5	-1.7	1.8	2.3	2.6	-0.8	6		
7 (P56)	内容のきまりを守っていないものを選択する						○	70.3	70.6	73.9	-3.6	3.3	4.0	4.3	-1.0	2		

[小学校 国語B：主として活用]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号 〔問題掲載ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点					正答率(%)					無解答率(%)			グラフ(正答率:国との差)			
			ア	イ	ウ	エ	オ	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差		優先順位		
																		国との差	
1-1 (P56)	新聞の切り付けとして適切なものを選択する	目的や意図に並び、新聞の切り付けをする			○					72.8	73.5	74.6	-1.8	0.3	0.4	0.5	-0.2	2	▼ -10.0
1-2 (P57)	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	目的や意図に並び、記事に見出しを付ける			○				66.8	68.3	70.8	-4.0	0.4	0.5	0.6	-0.2	1		
1-3	〔中田とよきさんへのインタビューの様子〕の内容をまとめて書く	目的や意図に並び、取材した内容を整理しながら記事を書く	○		○				34.6	34.0	34.7	-0.1	2.2	3.6	4.0	-1.8	6		
2-7	〔ア〕に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	目的に並び、中心となる語や文を捉える				○			76.0	74.7	75.5	0.5	3.0	3.5	3.6	-0.6	7		
2-1	〔イ〕に入る言葉として適切な内容を書き抜く	目的に並び、中心となる語や文を捉える				○			85.6	85.5	86.0	-0.4	4.1	4.9	5.6	-1.5	4		
2-2 (P45)	〔文章〕の要旨をまとめて書く	目的に並び、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える	○		○				80.2	78.7	78.4	1.8	5.2	6.7	7.0	-1.8	9		
2-3	雑誌の分組の決め方について、〔雑誌の分組図〕を基にして書く	文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く	○		○				41.3	39.9	41.6	-0.3	6.3	8.2	8.7	-2.4	5		
3-1	〔絵3〕の場面が始まるまゝとまりとして適切なものを選択する	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える				○			59.9	60.1	60.4	-0.5	7.4	8.6	9.7	-2.3	3		
3-2	声に出して読むときの工夫とその理由を書く	登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する	○		○				67.9	65.6	66.6	1.3	11.5	14.9	15.1	-3.6	8		

[小学校 算数A：主として知識]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 算数への関心・意欲・態度 イ) 数学的な考え方 ウ) 数量や図形についての技能 エ) 数量や図形についての知識・理解

設問番号 〔問題掲載 ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点				正答率(%)				無解答率(%)				グラフ(正答率:国との差)			
			ア	イ	ウ	エ	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差		優先順位		
																	国との差	国との差
1 (1) 〔P46〕	8.9-0.78の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる				○	77.2	73.7	71.0	6.2	0.4	0.6	0.6	0.6	-0.2	15	-10.0	+10.0
1 (2)	5.2+0.7は0.01が何個集まった数を表すための式として、ふさわしい数値の組み合わせを書く	単位となる小数の幾つ分で、小数の大きさを表すことができる				○	75.1	74.2	74.3	0.8	0.8	0.9	1.1	0.9	-0.3	9		
1 (3) 〔P56〕	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	加法における計算の確かめの方法を理解している				○	76.7	77.4	82.0	-5.3	1.6	2.2	2.0	2.2	-0.4	1		
2 (1)	28+72を計算する	繰り上がりのある2位数の加法の計算をすることができ				○	98.3	98.4	98.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	8		
2 (2) 〔P46〕	6.79-0.8を計算する	末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができ				○	77.5	74.2	69.5	8.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	16		
2 (3)	5/9-1/4を計算する	異分母の分数の減法の計算をすることができ				○	80.5	81.3	81.4	-0.9	1.6	1.8	1.8	1.8	-0.2	6		
2 (4)	5/6÷7を計算する	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができ				○	87.4	87.8	84.2	3.2	2.2	2.3	4.1	2.3	-1.9	13		
3	午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める	日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる				○	74.5	74.1	74.8	-0.3	0.5	0.9	1.0	0.9	-0.5	7		

4 (1)	90°, 180°, 270°, 360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ	180°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に読めることができる		○	82.8	82.3	81.3	1.5	0.2	0.3	0.3	0.3	-0.1	12	
4 (2) (P46)	分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める	180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる	○		62.3	61.7	58.0	4.3	0.4	0.5	0.5	0.5	-0.1	14	
5 (1) (P59)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ	示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することができる		○	46.2	47.2	50.6	-4.4	1.1	1.5	1.6	1.6	-0.5	2	
5 (2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める	円の性質から三角形の等辺を探え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることができる		○	60.8	61.3	64.5	-3.7	1.9	2.4	2.4	2.4	-0.5	4	
6 (1)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く	示された展開図の情報を基に、展開図に必要な面の大きさを読み取ることができる		○	71.6	73.2	75.4	-3.8	1.6	2.2	2.2	2.1	-0.5	3	
6 (2)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ	見取図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解している		○	66.1	67.2	67.6	-1.5	2.0	2.9	3.4	3.4	-1.4	5	
7	ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ	グラフに表されている算術を読み取ることができる		○	82.6	81.6	81.8	0.8	1.7	2.3	2.3	2.3	-0.6	9	
8	○を並べた回を基に式を読み、数に対応する○を黒く塗る	式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することができる		○	89.1	87.8	88.1	1.0	3.3	4.4	4.4	4.6	-1.3	11	

[小学校 算数B：主として活用]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 算数への関心・意欲・態度 イ) 数学的な考え方 ウ) 数量や図形についての技能 エ) 数量や図形についての知識・理解

設問番号 [問題掲載 ページ]	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			正答率(%)					無解答率(%)					グラフ(正答率:国との差)	
			ア	イ	ウ	エ	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	優 先 順 位	国との差	
1 (1)	平行四辺形を構成することができる。四つの辺の組み合わせを選ぶ	平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解している	○			94.7	94.9	95.2	-0.5	0.0	0.1	0.1	-0.1	6	-10.0	+10.0	
1 (2) [P60]	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解している	○			51.9	51.3	54.6	-2.7	0.5	0.8	1.0	-0.5	1			
1 (3)	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く	示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述できる	○			28.0	28.8	27.7	0.3	10.9	12.8	14.3	-3.4	9			
2 (1)	トマトを7個買うとき、最も安く買う方法を選び、そのときの代金を書く	単位量当たりの大ききを用いて、目的に応じた買物の仕方を選択し、代金を求めることができる	○			65.3	64.8	64.8	0.5	0.2	0.3	0.3	-0.1	10			
2 (2) [P47]	20%増量した商品の内容量が480mlであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く	示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることができる	○			14.8	13.8	13.1	1.7	3.3	3.9	4.5	-1.2	12			
2 (3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを発見し、正しい求め方と答えを記述できる	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述できる	○			51.0	50.8	51.0	0.0	9.5	11.6	12.8	-3.3	8			
3 (1)	頂の長さが2.4mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれどの目盛りのところを持つてはよいかを書く	正三角形の性質を基に、示された頂の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることができる	○			30.5	30.9	32.5	-2.0	5.1	6.4	6.7	-1.6	3			
3 (2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、∠の角が30°になる理由を書く	正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、∠の角が30°になる理由を記述できる	○			49.0	49.1	49.1	-0.1	16.0	18.9	18.9	-2.9	7			
4 (1) [P47]	四つの数を四捨五入して、千の位までのおよその答えを書く	四捨五入して千の位までのおよその数にし、計算することができる	○			59.0	57.2	52.6	6.4	1.8	2.4	2.4	-0.6	13			
4 (2) [P61]	切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ	切り上げた場合の誤りの結果を基に、目標に達しているかについて判断できる	○			59.9	60.2	62.0	-2.1	2.8	3.7	3.9	-1.1	2			
4 (3)	目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	概数を用いた見積りの結果とそれに基づいて判断を説明し、3000個集めればよい理由を記述できる	○			23.1	23.6	22.3	0.8	12.2	15.2	15.3	-3.1	11			
5 (1)	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述できる	○			11.0	11.9	12.5	-1.5	18.1	21.6	21.0	-2.9	5			
5 (2)	示された図形の色がついた部分の面積を求め	条件を整理した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることができる	○			46.2	45.2	47.8	-1.6	15.2	17.8	17.3	-2.1	4			

【小学校 理科：知識9問 活用15問】

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 自然事象への関心・意欲・態度 イ) 科学的な思考・表現 ウ) 観察・実験の技能 エ) 自然事象についての知識・理解

設問番号 [問題掲載 ページ]	設問の概要	出題の意旨	枠組み		評価の観点				無解答率(%)				グラフ(正答率:国との差)		
			知識 問題	活用 問題	ア	イ	ウ	エ	倉敷市	岡山県	国	国との差	国との差	優先 順位	
1 (1)	振り子が1往復する時間を調べるための適切な条件を選んだ振り子を選ぶ	振り子時計の調整の仕方を調べるための強柱について、条件を判断しながら構想できる	○				77.0	76.4	77.6	-0.6	0.1	0.2	0.2	-0.1	14
1 (2)	振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ	振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用できる	○				60.4	60.4	61.2	-0.8	0.8	0.9	0.7	0.1	13
1 (3)	振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだだけを書く	膨張率が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述できる	○				63.6	63.5	62.8	0.8	0.9	1.0	1.1	-0.2	19
1 (4)	電磁石と磁石が遠く合うようするための極の組み合わせを選ぶ	電磁石と磁石の同極が遠く合う性質を振り子が左右に等しく振れる仕組みに適用できる	○				53.0	52.8	53.2	-0.2	0.9	1.3	1.3	-0.4	16
1 (5) 7	電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる回路の働き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ	電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善できる	○				71.5	72.6	72.7	-1.2	0.8	0.9	0.9	-0.1	11
1 (5) イ			○				68.3	66.8	66.2	2.1	0.7	1.0	1.0	-0.3	22
2 (1)	メダカのおすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	メダカの雌雄を見分ける方法を理解している	○				74.6	76.7	78.0	-3.4	0.4	0.4	0.3	0.1	4
2 (2) よし子	生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶ	生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を基に考察して分析できる	○				75.1	75.5	76.3	-1.2	0.4	0.6	0.6	-0.2	11
2 (2) ひろし			○				65.8	66.3	69.0	-3.2	0.5	0.8	0.8	-0.3	5
2 (3)	示された器具(顕微鏡)の名前を書く	顕微鏡の名前を理解している	○				62.6	60.9	61.6	1.0	14.4	16.1	16.1	-1.7	20
2 (4) [P62]	顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ	顕微鏡の適切な操作方法を身に付けている	○				31.0	35.9	37.9	-6.9	0.9	1.0	1.0	-0.1	1
2 (5) [P48]	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適切な栽培場所を選び、選んだだけを書く	植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を通して適切な場所を選べる	○				47.3	45.1	44.2	3.1	1.9	2.5	2.8	-0.9	23

3 (1)	水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ	水蒸気は水が気体になったものであることを理解している	○							81.9	-1.4	0.4	0.6	0.5	-0.1	8
3 (2)	水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ	予想が一致した順番に得られる結果を見通して実験を精読できる	○							54.0	-1.3	0.7	0.9	0.7	0.0	10
3 (3)	水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ	水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善できる	○							51.7	-4.4	0.9	1.2	1.1	-0.2	3
3 (4) [P48]	示された器具（メスシリンダー）の名称を書く	メスシリンダーの名称を理解している	○							70.7	4.0	7.1	9.9	10.7	-3.6	24
3 (5)	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けている	○							51.7	-1.3	2.8	2.9	2.9	-0.1	9
3 (6) [P63]	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く	析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できる	○							28.9	-5.7	3.8	5.3	5.7	-1.9	2
4 (1)	方位についての情報から、観察している方位を選ぶ	方位を判断するために、観察した専業と関係付けながら情報を考察して分析できる	○							41.0	1.3	1.5	1.9	2.0	-0.5	21
4 (2)	夕方に見られる月の形と場所を選ぶ	月は1日のうち時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解している	○							56.1	-2.2	1.6	2.0	2.0	-0.4	6
4 (3)	星盤の動きを捉えるために必要な観測事項を選ぶ	星盤の動きを捉えるための適切な観測方法を身に付けている	○							55.3	-2.2	1.7	2.2	2.2	-0.5	7
4 (4)	観察した星盤や雲の動きを選ぶ	星盤や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析できる	○							65.0	0.3	2.5	3.0	3.0	-0.5	17
4 (5)	水が水蒸気になる現象について、その名称を書く	水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解している	○							58.5	0.3	10.8	14.7	15.2	-4.4	17
4 (6)	地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から捉えることを選ぶ	打ち水をまいたときの地面の様子と温度変化に伴って、気温の変化を関係付けながら考察して分析できる	○							84.2	-0.4	3.6	4.3	4.2	-0.6	15

[中学校 国語A：主として知識]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号 (問題掲載 ページ)	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点					正答率(%)				無解答率(%)				グラフ(正答率:国との差)	
			ア	イ	ウ	エ	オ	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差		優先順位
1-1	スピーチの中で聞き手の反応を見て、とった対応として適切なものを選択する	相手の反応を踏まえて話す	○					91.0	91.6	93.0	-2.0	0.2	0.2	0.1	0.1	15	
1-2 (P65)	「成否」という言葉を、聞いて分かりやすい表現に直す	聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話す	○				60.2	63.1	65.0	-4.8	15.1	12.8	12.0	3.1	2		
2-1	意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する	意見を交える根拠の明確さについて助言する		○			77.1	77.7	79.8	-2.7	0.2	0.3	0.2	0.0	10		
2-2	意見文を直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書く		○			82.2	82.3	83.6	-1.4	0.2	0.2	0.2	0.0	19		
3-1 (P64)	用いられている表現の工夫として適切なものを選択する	表現の技法について理解する				○	51.2	55.4	58.3	-7.1	0.5	0.5	0.4	0.1	1		
3-2	一人も返事をしたものがなかった理由として適切なものを選択する	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			○		86.8	86.8	88.7	-1.9	0.3	0.3	0.2	0.1	16		
3-3	講師の言動から読み取れる様子として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			○		88.7	88.4	89.8	-1.1	0.3	0.4	0.3	0.0	21		
4-1	棒グラフの \square の値の変化の内容を適切に書く	伝えたい事実を明確に書く			○		68.9	66.7	67.6	1.3	5.2	5.4	4.2	1.0	30		
5-1	「なぜ、清水管はる雲彩になっているのか。」という問いに対する答えとして適切なものを選択する	文章から適切な情報を得て、考えをまとめる			○		92.8	92.5	93.6	-0.8	0.3	0.3	0.2	0.1	24		
6-1	「あす」と「あした」という言葉の意味の変化を整理した表に当てはまる言葉として適切なものを選択する	目的に応じて要旨を捉える			○		70.4	70.5	71.3	-0.9	0.3	0.3	0.3	0.0	23		
6-2	文章について説明したものとして適切なものを選択する	表現の特徴を捉える			○		84.6	84.7	87.1	-2.5	0.5	0.5	0.4	0.1	13		
7-1	二つの回答案の構成の違いを説明したものとして適切なものを選択する	伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考える			○		66.3	67.3	70.6	-4.3	1.0	1.0	0.7	0.3	5		
7-2	要望を適切に捉え、回答案の冒頭に一文を加える	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く			○		61.9	64.6	66.4	-4.5	12.9	11.4	8.6	4.3	4		
8-1	インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら聞き取る			○		82.0	82.3	84.6	-2.6	0.8	0.9	0.6	0.2	12		
8-2	意図に合った質問として適切なものを選択する				○		73.0	73.3	76.1	-3.1	0.9	1.1	0.7	0.2	8		

【中学校 国語B：主として活用】

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 読む能力 国との知識・理解・技能

設問番号 〔問題編集 ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点					正答率(%)					無解答率(%)			グラフ(正答率:国との差)	
			ア	イ	ウ	エ	オ	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	優先順位	国との差
1一 (P50)	ノートのその他の情報を整理して、適切なものを選択する	状況に応じて、資料を活用して話す	○					71.7	71.6	73.2	-1.5	0.4	0.4	0.2	9	-10.0	+10.0
1二	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	効果的な資料を作成し、活用して話す	○					85.1	84.8	87.3	-2.2	0.7	0.6	0.4	7		
1三	読書するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く	資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く	○	○	○			53.7	54.4	56.2	-2.5	4.8	4.5	2.8	5		
2一	ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する				○		80.0	80.1	82.6	-2.6	0.6	0.5	0.3	3		
2二	雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択する	文章の中心部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える				○		65.3	66.2	67.8	-2.5	0.7	0.6	0.3	5		
2三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのような関わり合いがほしいか、自分の考えを書く	複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く	○	○	○			21.3	20.9	23.0	-1.7	6.5	5.9	3.7	8		
3一	「お流きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する	表現の工夫について自分の考えをもつ				○		86.0	86.1	88.6	-2.6	1.0	0.7	0.5	3		
3二 (P67)	「あたりは……自かつた。」の説明として適切なものを選択する					○		79.0	79.8	82.6	-3.6	1.1	0.9	0.7	2		
3三 (P66)	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く	○	○	○			26.8	28.1	31.1	-4.3	17.8	17.2	11.2	1		

[中学校 数学A：主として知識]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 数学への関心・意欲・態度 イ) 数学的な見方や考え方 ウ) 数学的な技能 エ) 数量や図形などについての知識・理解

設問番号 【問題掲載 ページ】	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点					正答率(%)					無解答率(%)					グラフ(正答率:国との差)		
			ア	イ	ウ	エ	国 との 差	国 山 県	市	国 との 差	国 山 県	市	国 との 差	国 山 県	市	国 との 差				
																	優 先 順 位			
1 (1)	12:9と等しい比を求めよ	比の意味を理解している	○	○	○	○	91.1	91.8	93.6	93.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	25	▼ -10.0	▲ +10.0
1 (2)	$12-2 \times (-6)$ を計算する	加減乗除を含む正負の数の計算において、計算のまじりにしたがって計算できる	○	○	○	○	80.3	81.4	83.7	83.7	1.8	1.7	1.2	0.6	16					
1 (3)	a が正の数のとき、 $a \times (-2)$ の計算の結果について正しい記述を選ばせよ	正の数と負の数の乗法について理解している	○	○	○	○	73.0	73.2	75.7	75.7	0.6	0.4	0.3	0.3	22					
1 (4)	ある日の最低気温を基準にして、その前日の最低気温との差から、前日の最低気温を求めよ	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	○	○	○	○	72.6	74.2	75.4	75.4	2.6	2.0	1.3	1.3	21					
2 (1)	$5x-x$ を計算する	一次式の減法の計算ができる	○	○	○	○	84.5	84.2	85.3	85.3	2.3	2.1	1.6	0.7	32					
2 (2)	赤いテープの長さが a cm で、白いテープの長さがその $\frac{3}{5}$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表せよ	数量の関係を文字式に表すことができる	○	○	○	○	17.7	20.1	22.2	22.2	12.7	10.8	9.0	3.7	6					
2 (3)	等式 $2x-y=5$ を y について解く	等式を目的のために変形することができる	○	○	○	○	63.6	64.3	64.2	64.2	8.6	7.7	6.8	1.8	33					
2 (4)	連続する3つの整数のうちの最も小さい整数を n とすると、それらの和が中央の整数の3倍になることを、 n を用いた式で表せよ	文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解している	○	○	○	○	53.8	55.5	57.0	57.0	10.4	8.8	7.9	2.5	18					
3 (1)	一元一次方程式 $7x=5x+4$ を解く際に用いられている等式の性質を選ばせよ	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している	○	○	○	○	75.8	77.5	79.4	79.4	0.9	0.8	0.5	0.4	15					
3 (2)	一元一次方程式 $1.2x-6=0.5x+1$ を解く	小数を含む一元一次方程式を解くことができる	○	○	○	○	69.0	70.7	73.8	73.8	11.0	9.5	7.1	3.9	5					
3 (3) [P5]	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選ばせよ	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる	○	○	○	○	49.4	46.9	44.9	44.9	1.5	1.2	0.9	0.6	36					
3 (4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 4x+2y=5 \\ x+y=2 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	○	○	○	○	53.1	53.6	56.8	56.8	13.7	13.1	10.4	3.3	14					
4 (1)	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ばせよ	垂線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している	○	○	○	○	56.8	57.5	59.1	59.1	1.3	1.3	1.0	0.3	27					
4 (2)	$\triangle ABC$ を、矢印の方向に4cm平行移動した四角形をかく	平行移動した図形をかくことができる	○	○	○	○	50.1	53.2	54.5	54.5	2.6	2.4	2.2	0.4	7					
5 (1)	直方体において、与えられた辺に垂直な面をかく	空間における直線と平面の垂直について理解している	○	○	○	○	46.9	48.2	47.4	47.4	3.1	2.8	1.9	1.2	34					
5 (2)	直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を選ばせよ	直角三角形の斜辺を軸とする回転によって構成される空間図形の形を理解している	○	○	○	○	82.4	82.0	83.4	83.4	0.5	0.5	0.3	0.2	31					
5 (3)	与えられた投影図から立体を積み取り、その立体を選ばせよ	与えられた投影図から空間図形を積み取ることができる	○	○	○	○	80.4	82.4	83.8	83.8	0.7	0.5	0.4	0.3	17					
5 (4)	与えられた式で体積が求められる立体を選んで選ばせよ	与えられた式を用いて体積を求めることができる立体を理解している	○	○	○	○	52.4	56.1	56.4	56.4	2.3	1.7	1.4	0.9	9					

[中学校 数学B：主として活用]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 数学への関心・意欲・態度 イ) 数学的な見方や考え方 ウ) 数学的な技能 エ) 数量や図形などについての知識・理解

課題番号 【問題掲載 ページ】	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			正答率(%)				無解答率(%)				グラフ(正答率・国との差)		
			ア	イ	ウ	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	優先順位	国との差	
1 (1)	相似図形と相似図形の長さの関係を式で表す	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	○			23.8	27.0	29.3	-5.5	28.5	25.7	21.1	7.4	8	-10.0	+10.0
1 (2)	相似図形がスクリーンに映り、できるだけ大きく映し出すことができる相似図形を選ぶ	必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することができる	○			33.7	35.5	35.1	-1.4	1.5	1.2	0.9	0.6	15		
1 (3) 【P52】	相似の明るさを2倍にするための相似図形の適切な長さを求める理由を説明する	事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的に表現を用いて説明することができる	○			7.8	9.2	11.7	-3.9	11.5	9.1	5.6	5.9	12		
2 (1)	連続する3つの整数が19、20、21のとき、それらの和が中央の整数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における事象の対象を明確に捉えることができる	○			71.7	73.3	78.8	-7.1	9.2	9.2	6.0	3.2	4		
2 (2)	連続する3つの整数の和が中央の整数の3倍になることとを説明する	事象が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	○			36.4	39.4	43.1	-6.7	35.7	31.3	24.0	11.7	5		
2 (3)	連続する5つの整数の和について成り立つ事象を表現する	発展的に考え、予想した事象を説明することができる	○			56.2	57.9	63.8	-7.6	28.5	25.8	19.4	9.1	3		
3 (1)	ポップアップカードを90°に開いたとき、四角形EFGHが正方形になる場合のEFの長さを求める	平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確に捉えることができる	○			36.8	38.7	42.6	-5.8	13.4	11.8	8.7	4.7	7		
3 (2)	四角形EFGHが正方形になるように点Eの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することができる	○			16.0	18.8	21.2	-5.2	58.9	53.8	48.2	10.7	9		
4 (1)	証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明した点と以外に新たにわかることを選ぶ	証明を振り返り、新たな性質を見いだすことができる	○			37.7	39.1	42.5	-4.8	1.9	1.6	1.2	0.7	10		
4 (2)	正方形ABCDを平行四辺形ABCDに交えても、A'E=C'Fとなることの証明を完成させる	発展的に考え、条件を変えた場合について説明することができる	○			46.5	47.1	49.6	-3.1	24.6	23.5	18.6	6.0	14		
5 (1) 【P70】	1回目の調査で、落とした物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を推定する	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	○			30.6	34.3	39.1	-8.5	36.2	32.0	26.8	9.4	1		
5 (2)	2回目の調査の落とした物の状況がよくなくなったと推定し、推定する理由を、グラフを基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	○			17.4	20.6	23.3	-5.9	39.2	35.4	29.7	9.5	6		
5 (3)	落下のある落とした物を1個、ない落とした物を1個、2点として集計するとき、集計する手段の決定的方法として正しい記述を選ぶ	振り返って立てられた構想に沿って、事象を数学的に表現し、その意味を解釈することができる	○			63.0	63.7	67.3	-4.3	2.4	2.1	1.5	0.9	11		
6 (1)	中心角の大きさxと半径の長さyの間にある関係について、正しい記述を選ぶ	与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断できる	○			42.6	43.8	46.5	-3.9	2.3	2.0	1.3	1.0	13		
6 (2) 【P71】	底面になる円の半径の長さが8cmのとき、扇形から、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する	与えられた条件式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる	○			23.2	26.8	30.8	-7.6	27.4	22.8	17.1	10.3	2		

[中学校 理科：知識7問 活用18問]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 自然現象への関心・意欲・態度 イ) 科学的な思考・表現 ウ) 観察・実験の技能 エ) 自然現象についての知識・理解

設問番号 〔問題掲載 ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点				正答率(%)				無解答率(%)				グラフ(正答率:国との差)	
			待組み	7	イ	ウ	エ	富 敷 市	岡 山 県	国 と の 差	富 敷 市	岡 山 県	国 と の 差	優 先 順 位	国 と の 差	
1 (1) 化学式	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	塩化ナトリウムを化学式で表すことができる	○				75.7	76.4	79.6	-3.9	0.5	0.3	0.2	7		
1 (1) 濃度	濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの実量を求めることができる	○				40.9	44.0	45.0	-4.1	22.4	17.6	4.8	6		
1 (2)	同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと炭酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ	炭酸の結晶を分析して精製し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘することができる	○	○			29.2	31.1	32.6	-3.4	0.6	0.3	0.3	11		
1 (3)	水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する	二酸化炭素の体積を量る場面において、水上置換法では正確に量れない理由を説明することができる	○	○			49.4	53.5	53.0	-3.6	23.2	18.8	4.4	9		
1 (4)	炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の減少のグラフから、温度と化学変化の促進として適切なものを選ぶ	グラフを分析して精製し、化学変化について正しく読み取ることができる	○	○			69.7	71.5	73.6	-3.9	0.7	0.4	0.3	7		
1 (5)	ベーキングパウダーの原料で、気体の発生に関係しているのが、炭酸水素ナトリウムであることを特定するための材料を選ぶ	炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係することを特定する材料を選ぶことができる	○	○			49.4	51.4	51.7	-2.3	0.9	0.8	0.1	15		
1 (6)	他者の考えを検討して改善し、炭酸水素ナトリウムとウエーシンの混合物を加熱したときの化学変化の説明として最も適切なものを選ぶ	他者の考えを検討して改善し、混合物を加熱したときの化学変化を説明することができる	○	○			55.4	55.2	57.7	-2.3	1.5	1.2	0.3	15		
2 (1)	天気図から風力を読み取る	天気図から風力を読み取ることができる	○				76.7	75.5	77.9	-1.2	12.2	11.8	9.0	19		
2 (2) [P53]	天気図から風向を読み取り、その風向を示している風向計を選ぶ	天気図の記号から風向を読み取り、風向計を使って風向を把握することができる	○	○			51.4	48.1	48.6	2.8	0.6	0.8	0.5	25		
2 (3)	湿った窓ガラスが曇りに沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する	他者の考えを検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することができる	○	○			12.7	14.6	14.5	-1.8	10.6	9.1	6.7	18		
2 (4) [P72]	上空を飛行中の飛行機内での菓子袋の膨らみを確認する実験について、空気を抜く操作に対応する飛行機の状況を選択する	気圧の変化で菓子袋が膨らむことについてモデルを使った実験を計画することができる	○	○			54.4	59.0	62.2	-7.8	0.7	0.5	0.2	1		

3 (1)	1.3時から1.6時の四つの気象観測所の記録から最も高い湿度を選ぶ	観点を決定する場面において、最も高い湿度の時刻を指摘することができる	○	○	○	○	○	○	○	33.6	36.4	36.5	-2.9	0.8	0.8	0.6	0.2	14	
3 (2)	上空と地上の湿度差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ	一定の時間に多くの雨が降る原因を探る実験を計画することができる	○	○	○	○	○	○	○	37.9	39.7	39.0	-1.1	0.9	0.9	0.8	0.1	20	
4 (1)	実験の結果から、凸レンズによる画像ができるときの、像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ	凸レンズによってできる像を調べる実験の結果を分析して解釈し、規則性を指摘することができる	○	○	○	○	○	○	○	40.7	40.4	43.7	-3.0	0.9	0.8	0.6	0.2	13	
4 (2)	ヒトの「目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらない」という条件に合う方法を選ぶ	他の考えた実験の方法を材料として改善し、適切な方法を説明することができる	○	○	○	○	○	○	○	49.3	50.1	50.3	-1.0	1.4	1.4	1.1	0.3	21	
5 (1)	抵抗に加わる電圧と流れる電流から、抵抗の大きさを計算して求める	オームの法則を導いて、抵抗の値を求めることができる	○	○	○	○	○	○	○	56.3	56.9	59.6	-3.3	19.7	19.3	15.6	3.7	12	
5 (2)	電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する	技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入切り切りによる磁界の向きを説明することができる	○	○	○	○	○	○	○	50.7	55.9	56.8	-6.1	33.8	38.9	30.7	8.2	3	
6 (1)	音の波形を比較し、音の高さが高くなった根拠として、正しいものを選ぶ	日常生活の場面において、音の高さが高くなったことと正しい音の高さを指摘することができる	○	○	○	○	○	○	○	40.2	40.4	40.1	0.1	1.2	1.1	0.8	0.3	22	
6 (2)	音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ	音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画することができる	○	○	○	○	○	○	○	26.4	27.9	29.9	-3.5	1.4	1.3	1.0	0.3	10	
7 (1)	消化酵素によって、デンプンが最終的に分解された物質の名前を選ぶ	デンプンが消化酵素によって分解されて、最終的にできる物質の名前を答えることができる	○	○	○	○	○	○	○	73.1	71.5	72.2	0.9	1.2	1.3	0.9	0.4	23	
7 (2)	キウイフルーツがセラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ	実験の結果を分析して解釈し、キウイフルーツはセラチンを分解することを指摘することができる	○	○	○	○	○	○	○	71.9	73.0	76.4	-4.5	1.5	1.5	1.1	0.4	5	
7 (3)	キウイフルーツの上に置いたゼリーのぬれ方に違いが現れたという新たな疑問から、適切な問題を記述する	思いだした問題を基に、適切な課題を設定することができる	○	○	○	○	○	○	○	51.9	53.1	57.3	-5.4	32.7	34.3	27.8	6.5	4	
8 (1)	背骨のある動物の名前を答える	背骨のある動物を、セキツイ動物と答えることができる	○	○	○	○	○	○	○	65.3	65.0	63.9	1.4	11.5	11.0	10.4	0.6	24	
8 (2)	えらぶたの閉鎖回数から平均値を求める理由として適切なものを選ぶ	平均値を求める場面において、平均値を求める理由を説明することができる	○	○	○	○	○	○	○	53.8	54.6	55.7	-1.9	1.6	1.7	1.4	0.3	17	
8 (3) (P7)	課題に対して適切な(課題に正対した)考察になるよう修正する	他の考察を材料として改善し、課題に対して適切な(課題に正対した)考察を記述することができる	○	○	○	○	○	○	○	41.0	42.6	47.4	-6.4	30.7	32.5	25.5	7.0	2	

(4) 設問別の概要・分析【国との差順】

【小学校 国語 A：主として知識】

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号 【問題掲載 ページ】	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率 (%)					無解答率 (%)					グラフ(正答率・国との差)	
			選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	優先順位	国との差		
1-3 【P44】	漢字を書く (ひょういんに行く)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○			83.9	76.6	74.9	9.0	1.5	3.1	4.7	-3.2	14	-10.0	+10.0	
3 【P44】	聞き方の説明として適切なものを選択する	話の内容に対する聞き方を工夫する	○			55.7	54.4	53.0	2.7	0.3	0.4	0.5	-0.2	13			
1-3	漢字を抜く (全員がすぐくはなした)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○			94.5	93.0	92.5	2.0	1.6	2.2	2.5	-0.9	12			
1-1	漢字を書く (シャワーをぬぐ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○			58.8	62.3	58.4	0.4	11.5	12.6	17.2	-5.7	11			
1-1	漢字を抜く (友人を家に招く)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○			97.6	97.7	97.5	0.1	0.5	0.6	0.7	-0.2	10			
1-2	漢字を抜く (自分の得意をため)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○			95.9	95.8	96.0	-0.1	0.5	0.9	0.9	-0.4	9			
2-2	文の型として適切なものを選択する	文を構成する主語と述語との照応関係を捉える	○			70.3	70.5	71.7	-1.4	0.3	0.5	0.5	-0.2	8			
5-	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまじりを選択する	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える	○			57.9	57.0	59.5	-1.6	1.4	1.7	1.6	-0.2	7			
6	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する	登場人物の相互関係を捉える	○			65.8	65.9	67.5	-1.7	1.8	2.3	2.6	-0.8	6			
2-	文の主語として適切なものを選択する	文の中における主語を捉える	○			50.8	51.1	53.1	-2.3	0.3	0.6	0.6	-0.3	5			
4	説明の文意の書き方の工夫として適切なものを選択する	具体的な事例を挙げて説明する文意を書く	○			83.2	84.2	86.0	-2.8	0.2	0.3	0.3	-0.1	4			
1-2 【P55】	漢字を書く (鳥の玉を観察する)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○			73.2	74.4	76.5	-3.3	4.5	5.1	5.7	-1.2	3			
7 【P55】	応募のさまじりを守っていないものを選択する	作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取る	○			70.3	70.6	73.9	-3.6	3.3	4.0	4.3	-1.0	2			
5- 【P44】	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える	○			15.6	15.2	19.8	-4.2	5.6	7.0	7.7	-2.1	1			

【小学校 国語B：主として活用】

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号 〔問題掲載 ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率 (%)					無解答率 (%)				グラフ(正答率:国との差)	
			選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	優先順位	国との差	
2二 (P45)	【文章】の要旨をまとめて書く	目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える		○		80.2	78.7	78.4	1.8	5.2	6.7	7.0	-1.8	9	-10.0	+10.0
3二	声に出して読むときの工夫とその理由を書く	登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する		○		67.9	65.6	66.6	1.3	11.5	14.9	15.1	-3.6	8		
2ーア	【ア】に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	目的に応じ、中心となる語や文を捉える	○			76.0	74.7	75.5	0.5	3.0	3.5	3.6	-0.6	7		
1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く		○		34.6	34.0	34.7	-0.1	2.2	3.6	4.0	-1.8	6		
2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く		○		41.3	39.9	41.6	-0.3	6.3	8.2	8.7	-2.4	5		
2ーイ	【イ】に入る言葉として適切な内容を書き抜く	目的に応じ、中心となる語や文を捉える		○		85.6	85.5	86.0	-0.4	4.1	4.9	5.6	-1.5	4		
3ー	(絵3)の場面が始まるままとりとして適切なものを選択する	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える	○			59.9	60.1	60.4	-0.5	7.4	8.6	9.7	-2.3	3		
1ー (P56)	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする	○			72.8	73.5	74.6	-1.8	0.3	0.4	0.5	-0.2	2		
1二 (P57)	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける	○			66.8	68.3	70.8	-4.0	0.4	0.5	0.6	-0.2	1		

[小学校 算数A：主として知識]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 算数への関心・意欲・態度 イ) 数学的な考え方 ウ) 数量や図形についての知識・理解

設問番号 (問題掲載 ページ)	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率(%)					無解答率(%)			グラフ(正答率:国との差)		
			選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	優先順位	国との差	
2 (2) [P46]	6. $79-0.8$ を計算する	末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができる	○			77.5	74.2	69.5	8.0	0.7	0.7	0.7	0.0	16	-10.0	+10.0
1 (1) [P46]	8. $9-0.78$ の差の計算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる	○			77.2	73.7	71.0	6.2	0.4	0.6	0.6	-0.2	15		
4 (2) [P46]	分度器の目盛りを読み、 180° より大きい角の大きさを求める	180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることができる	○			62.3	61.7	58.0	4.3	0.4	0.5	0.5	-0.1	14		
2 (4)	$5 \div 6 \div 7$ を計算する	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる	○			87.4	87.8	84.2	3.2	2.2	2.3	4.1	-1.9	13		
4 (1)	90° 、 180° 、 270° 、 360° を基準として角の大きさを真当付けたものから、正しいものを選ぶ	180° よりも大きい角のおよその大きさを、 2 直角、 3 直角を基に捉えることができる	○			82.8	82.3	81.3	1.5	0.2	0.3	0.3	-0.1	12		
8	○を並べた図を基に式を読み、数に対応する○を黒く塗る	式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することができる	○			89.1	87.8	88.1	1.0	3.3	4.4	4.6	-1.3	11		
1 (2)	$5.21+0.7$ は 0.01 が何個集まった数かを表すための式として、ふさわしい数値の組み合わせを黒く	単位となる小数の幾つ分で、小数の大きさを表すことができる	○			75.1	74.2	74.3	0.8	0.8	0.9	1.1	-0.3	9		
7	ハンカチを5日間持つてきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ	グラフに表されている事柄を読み取ることができる	○			82.6	81.6	81.8	0.8	1.7	2.3	2.3	-0.6	9		

[小学校 算数B：主として活用]

「算数の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 算数への関心・意欲・態度 イ) 数学的な考え方 ウ) 数量や図形についての知識・理解

設問番号 〔問題掲載ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率(%)				無解答率(%)				グラフ(正答率:国との差)		
			選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	優先順位	国との差	
4 (1) [P47]	四つの数を四捨五入して、千の位までのおおよその数に表し、それらの数の和を求める式と答えを書く	四捨五入して千の位までのおおよその数にして計算することができる	○			59.0	57.2	52.6	6.4	1.8	2.4	2.4	-0.6	13	-10.0	+10.0
2 (2) [P47]	20%増量した商品の内容量が480mlであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く	示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることができる	○			14.8	13.8	13.1	1.7	3.3	3.9	4.5	-1.2	12		
4 (3)	目標に達するには、1.2月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	総数を用いた見積りの結果とそれに基づいて判断を導出し、3000個集めればよい理由を記述できる	○			23.1	23.6	22.3	0.8	12.2	15.2	15.3	-3.1	11		
2 (1)	トマトを7個買うとき、最も安く買う方法を調べ、そのときの代金を書く	単位買当たりの大きさを求めて、目的に応じた買物の仕方を検討し、代金を求めることができる	○			65.3	64.8	64.8	0.5	0.2	0.3	0.3	-0.1	10		
1 (3)	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く	示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述できる	○			28.0	28.8	27.7	0.3	10.9	12.8	14.3	-3.4	9		
2 (3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述できる	○			51.0	50.8	51.0	0.0	9.5	11.6	12.8	-3.3	8		
3 (2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、⑦の角が30°になるわけを書く	正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、⑦の角が30°になる理由を記述できる	○			49.0	49.1	49.1	-0.1	16.0	18.9	18.9	-2.9	7		
1 (1)	平行四辺形を構成することができる、四つの辺の組み合わせを選ぶ	平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解している	○			94.7	94.9	95.2	-0.5	0.0	0.1	0.1	-0.1	6		
5 (1)	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	長方形の面積を等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述できる	○			11.0	11.9	12.5	-1.5	18.1	21.6	21.0	-2.9	5		
5 (2)	示された図形の色がついた部分の面積を求める	条件を整理した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることができる	○			46.2	45.2	47.8	-1.6	15.2	17.8	17.3	-2.1	4		
3 (1)	周の長さが2.4mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれどの目盛りのところを持ってはよいかを書く	正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることができる	○			30.5	30.9	32.5	-2.0	5.1	6.4	6.7	-1.6	3		
4 (2) [P61]	切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ	切り上げた場合の見積りの結果を基に、目標に達しているかについて判断できる	○			59.9	60.2	62.0	-2.1	2.8	3.7	3.9	-1.1	2		
1 (2) [P60]	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解している	○			51.9	51.3	54.6	-2.7	0.5	0.8	1.0	-0.5	1		

【小学校 理科：知識9問 活用15問】

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 自然事象への関心・意欲・態度 イ) 科学的な思考・表現 ウ) 観察・実験の技能 エ) 自然事象についての知識・理解

設問番号 【問題掲載 ページ】	設問の概要	出題の趣旨	特組み			正答率(%)					無解答率(%)				グラフ(正答率・国との差)	
			知識 問題	活用 問題	選択 式	記述 式	香 敷 市	岡 山 県	国	国 との 差	香 敷 市	岡 山 県	国	国 との 差	優 先 順 位	国との差
3 (4) 【P48】	示された器具(メスシリンダー)の名称を書く	メスシリンダーの名称を理解している	○		○		74.7	71.8	70.7	4.0	7.1	9.9	10.7	-3.6	24	+10.0
2 (5) 【P48】	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適切な栽培場所を選び、選んだわけを書く	植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述できる	○	○	○		47.3	45.1	44.2	3.1	1.9	2.5	2.8	-0.9	23	
1 (5) イ	電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の動き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ	電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善できる	○	○	○		68.3	66.8	66.2	2.1	0.7	1.0	1.0	-0.3	22	
4 (1)	方位についての情報から、観察している方位を選ぶ	方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析できる	○	○	○		42.3	41.3	41.0	1.3	1.5	1.9	2.0	-0.5	64	
2 (3)	示された器具(顕微鏡)の名称を書く	顕微鏡の名称を理解している	○		○		62.6	60.9	61.6	1.0	14.4	16.1	16.1	-1.7	20	
1 (3)	振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだわけを書く	金属の種類が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述できる		○	○		63.6	63.5	62.8	0.8	0.9	1.0	1.1	-0.2	19	
4 (4)	観察した星座や雲の動きを選ぶ	星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析できる		○	○		65.3	64.9	65.0	0.3	2.5	3.0	3.0	-0.5	17	
4 (5)	水が水蒸気になる現象について、その名称を書く	水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解している	○		○		58.8	56.4	58.5	0.3	10.8	14.7	15.2	-4.4	17	
1 (4)	電磁石と磁石が選け合うようするための磁の組み合わせを選ぶ	電磁石と磁石の同極が選け合う性質を振り子が左右に等しく振れる仕組みに適用できる		○	○		53.0	52.8	53.2	-0.2	0.9	1.3	1.3	-0.4	16	
4 (6)	地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ	打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析できる		○	○		83.8	83.6	84.2	-0.4	3.6	4.3	4.2	-0.6	15	
1 (1)	振り子が1往復する時間を測る要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選ぶ	振り子時計の調整の仕方を探るための実験について、条件を制御しながら構想できる		○	○		77.0	76.4	77.6	-0.6	0.1	0.2	0.2	-0.1	14	
1 (2)	振り子時計の進みを調整する内容を選ぶ	振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用できる		○	○		60.4	60.4	61.2	-0.8	0.8	0.9	0.7	0.1	13	

1 (5) 7	電池石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる 導線の動き方や乾電池のつなぎ方について、当てはま るものを選ぶ	電池石の働きを利用した振り子について、試行 した結果を基に自分の考えを改善できる	○		71.5	72.6	72.7	-1.2	0.8	0.9	0.9	-0.1	11
2 (2) よし子	生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分け した観察を選ぶ	生物の成長に必要な養分のとり方について、調 べた結果を基に自分の考えを改善できる	○		75.1	75.5	76.3	-1.2	0.4	0.6	0.6	-0.2	11
3 (2)	水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高く なる順番を選ぶ	予想が一致した場合に併せられる結果を見逃して 実験を構想できる	○		52.7	53.1	54.0	-1.3	0.7	0.9	0.7	0.0	10
3 (5)	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な選 み方を選ぶ	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切 な取っ手を身に付けている	○		50.4	49.9	51.7	-1.3	2.8	2.9	2.9	-0.1	9
3 (1)	水蒸気の粒の観察の説明として当てはまるものを選ぶ	水蒸気は水が気体になったものであることを理 解している	○		80.5	80.6	81.9	-1.4	0.4	0.6	0.5	-0.1	8
4 (3)	星座の動きを捉えるために必要な観察事項を選ぶ	星座の動きを捉えるための適切な観察方法を身 に付けている	○		53.1	54.9	55.3	-2.2	1.7	2.2	2.2	-0.5	7
4 (2)	夕方にみられる月の形と場所を選ぶ	月は1日のうち時刻によつて形は変わらない が、位置が変わることを理解している	○		53.9	54.8	56.1	-2.2	1.6	2.0	2.0	-0.4	6
2 (2) ひるし	生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分け した観察を選ぶ	生物の成長に必要な養分のとり方について、調 べた結果を基に自分の考えを改善できる	○		65.8	66.3	69.0	-3.2	0.5	0.8	0.8	-0.3	5
2 (1)	メガカのみずとおすを見分けるための観察する部分を選 ぶ	メガカの観察を見分ける方法を理解している	○		74.6	76.7	78.0	-3.4	0.4	0.4	0.3	0.1	4
3 (3)	水の温まり方について、実験結果から考え直した内容 を選ぶ	水の温まり方を考察するために、実験結果を基 に自分の考えを改善できる	○		47.3	48.6	51.7	-4.4	0.9	1.2	1.1	-0.2	3
3 (6) 【P62】	水の温度と砂漏が水に注げる量との関係のグラフか ら、水の温度が下がったときに出てくる砂漏の量を選 び、選んだわけを書く	振出す砂漏の量について分析するために、グ ラフを基に考察し、その内容を記述できる	○	○	23.2	25.3	28.9	-5.7	3.8	5.3	5.7	-1.9	2
2 (4) 【P62】	観察の適切な操作方法を選ぶ	観察の適切な操作方法を身に付けている	○		31.0	35.9	37.9	-6.9	0.9	1.0	1.0	-0.1	1

[中学校 国語A：主として知識]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号 〔問題掲載ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率(%)					無解答率(%)					グラフ(正答率:国との差)		
			選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国との差	国	岡山県	倉敷市	国との差	国	岡山県	倉敷市	国との差	優先順位	国との差
9六 〔P48〕	手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する。	手紙の書き方を理解して書く	○			64.3	61.5	58.2	6.1	1.4	1.5	1.2	0.2	33				
9三エ	適切な語句を選択する。(彼女は、学級委員の下の立場だと告げる存在だ)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	○			74.4	73.5	70.8	3.6	1.0	1.1	0.8	0.2	32				
9四②	「新しい」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する	単語の類別について理解する	○			35.1	35.4	33.7	1.4	1.2	1.4	1.1	0.1	31				
4一	棒グラフの部の変化した内容を適切に書く	伝えたい事実を明確に書く	○			68.9	66.7	67.6	1.3	5.2	5.4	4.2	1.0	30				
9二二	漢字を抜く(シャツの括弧をまくる)	文脈に即して漢字を正しく読む	○			93.9	93.7	94.1	-0.2	1.6	1.7	1.2	0.4	29				
9三三	漢字を抜く(学校のことが新聞に載る)	文脈に即して漢字を正しく読む	○			97.0	96.8	97.2	-0.2	1.7	1.9	1.3	0.4	27				
9五	漢字の読み説明に対応する部分として適切なものを選択する	毛筆を用いて、楷書で文字を書く	○			85.7	85.7	85.9	-0.2	0.9	1.1	0.8	0.1	27				
9七1	漢語の言葉に対応する部分として適切なものを右側の文章の中から選択する	漢語の内容を参考にし、登場人物の思いやものの見方を想像する	○			74.7	75.3	75.3	-0.6	1.7	1.7	1.4	0.3	26				
5一	「なぜ、排水管はS字形になっているのか。」という問いに対する答えとして適切なものを選択する	文章から適切な情報を得て、考えをまとめる	○			92.8	92.5	93.6	-0.8	0.3	0.3	0.2	0.1	24				
9三ア	適切な語句を選択する(将来は、益盛手紙士になりたい)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	○			96.8	96.5	97.6	-0.8	0.7	0.8	0.5	0.2	24				
6一	「あす」と「あした」という言葉の意味の異化を整理した表に当てはまる言葉として適切なものを選択する	目的に応じて要旨を捉える	○			70.4	70.5	71.3	-0.9	0.3	0.3	0.3	0.0	23				
3三	東郷の語句から読み取れる様子として適切なものを選択する	登場人物の語句の意味を考え、内容を理解する	○			88.7	88.4	89.8	-1.1	0.3	0.4	0.3	0.0	21				
9一1	漢字を書く(ピュウクク五メートルの風が吹く)	文脈に即して漢字を正しく書く	○			87.4	86.8	88.5	-1.1	3.4	3.0	2.2	1.2	21				
2二	読み文を直し意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書く	○			82.2	82.3	83.6	-1.4	0.2	0.2	0.2	0.0	19				
9三ウ	適切な敬語を選択する(私が先生のお宅に参ります)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	○			82.7	83.4	84.1	-1.4	1.0	1.1	0.7	0.3	19				

【中学校 国語B：主として活用】

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

疑問番号 〔問題掲載 ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率(%)					無解答率(%)			グラフ(正答率:国との差)		
			選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国との差	国	岡山県	倉敷市	国との差	優先順位	国との差		
1-1 (P50)	ノートその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する	状況に応じて、資料を活用して話す	○			71.7	71.6	73.2	-1.5	0.4	0.2	0.2	0.2	9	-10.0	+10.0
2-3	資料を参考に2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのよう関わっていきたいか、自分の考えを書く	複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く	○			21.3	20.9	23.0	-1.7	6.5	3.7	2.8	8			
1-2	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	効果的な資料を作成し、活用して話す	○			85.1	84.8	87.3	-2.2	0.7	0.4	0.3	7			
1-3	講義するタイミンングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く	資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く	○			53.7	54.4	56.2	-2.5	4.8	2.8	2.0	5			
2-2	雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択する	文章の中心部分と付加的部分などを構み分け、要旨を捉える	○			65.3	66.2	67.8	-2.5	0.7	0.3	0.4	5			
2-1	ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する	○			80.0	80.1	82.6	-2.6	0.6	0.3	0.3	3			
3-1	「お立きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する	表現の工夫について自分の考えをもつ	○			86.0	86.1	88.6	-2.6	1.0	0.7	0.5	3			
3-2 (P57)	「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する	表現の工夫について自分の考えをもつ	○			79.0	79.8	82.6	-3.6	1.1	0.9	0.4	2			
3-3 (P66)	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く	○			26.8	28.1	31.1	-4.3	17.8	11.2	6.6	1			

[中学校 数学 A : 主として知識]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 数学への関心・意欲・態度 イ) 数学的な見方や考え方 ウ) 数学的な技能 エ) 数量や図形などについての知識・理解

設問番号 [問題掲載 ページ]	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率(%)				無解答率(%)			グラフ(正答率:国との差)		
			選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	優先順位	国との差
3 (3) [P5]	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を求 めた式を選ぶ	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立 二元一次方程式をつくることのできる	○			49.4	46.9	44.9	4.5	1.5	1.2	0.9	0.6		
7 (2) [P5]	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同 条件を理解している	○	○		76.2	76.8	76.1	0.1	7.4	7.8	6.8	0.6		
5 (1)	立方体において、与えられた辺に垂直な面を書く	空間における直線と平面の垂直について理解し ている	○			46.9	48.2	47.4	-0.5	3.1	2.8	1.9	1.2		
2 (3)	等式 $2x-7=5$ を x について解く	等式を目的に応じて変形することができる	○			63.6	64.3	64.2	-0.6	8.6	7.7	6.8	1.8		
2 (1)	$5x-x$ を計算する	一次式の減法の計算ができる	○			84.5	84.2	85.3	-0.8	2.3	2.1	1.6	0.7		
5 (2)	直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を 選ぶ	直角三角形の斜辺を軸とする回転によって構成 される空間図形の形を理解している	○			82.4	82.0	83.4	-1.0	0.5	0.5	0.3	0.2		
7 (3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行 四角形になることの理由となる事柄を選ぶ	作図の根拠として用いられている平行四角形に なるための条件を理解している	○			46.7	47.4	48.1	-1.4	1.4	1.2	0.9	0.5		
1 2 (1)	時間と道のりの関係を表すグラフから、速さが最も遅 い区間を選ぶ	時間と道のりの関係を表すグラフについて、グ ラフの傾きが速さを表すことを理解している	○			48.3	50.4	49.9	-1.6	1.6	1.5	1.3	0.3		
6 (1)	同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	同位角の意味を理解している	○			78.5	78.8	80.3	-1.8	0.8	0.6	0.4	0.4		
4 (1)	乗線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	乗線の作図が四角形の対称性を基に行われている ことを理解している	○			56.8	57.5	59.1	-2.3	1.3	1.3	1.0	0.3		
1 (1)	$12:9$ と等しい比を選ぶ	比の意味を理解している	○			91.1	91.8	93.6	-2.5	0.2	0.2	0.1	0.1		
1 4 (2)	度数分布表について、 $\frac{a}{b}$ の値が $\frac{c}{d}$ であることを 求める	与えられた資料の度数分布表について、ある階 級の度数を求めることができる	○			73.4	75.0	75.9	-2.5	11.2	10.6	9.4	1.8		
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要と意味を理解している	○			23.2	23.4	25.8	-2.6	1.6	1.5	1.2	0.4		
1 (3)	a が正の数とき、 $a \times (-2)$ の計算の結果について 正しい記述を選ぶ	正の数と負の数の乗法について理解している	○			73.0	73.2	75.7	-2.7	0.6	0.4	0.3	0.3		
6 (2)	四角形を五角形に変えたときの、内角の和の差(1)につ いて正しい記述を選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	○			67.0	67.3	69.7	-2.7	1.3	1.2	0.9	0.4		
1 (4)	ある日の最低気温を基準にして、その前日の最低気温 との差から、前日の最低気温を求める	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び 付けて理解している	○			72.6	74.2	75.4	-2.8	2.6	2.0	1.3	1.3		
1 0 (2)	比例 $y=2x$ のグラフ上の点 A の x 座標が 3 のときの y 座標を求める	与えられた比例の式について、そのグラフ上の 点の x 座標を基に y 座標を求めることができる	○			61.8	63.5	64.9	-3.1	12.3	11.7	9.8	2.5		
2 (4)	連続する3つの整数のうち最も小さい整数を n とする とき、それらの和が中央の整数の3倍になることを、 n を用いた式で表す	文字を用いた式で数量の関係を説明するための 構想を理解している	○			53.8	55.5	57.0	-3.2	10.4	8.8	7.9	2.5		

[中学校 数学B：主として活用]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 数学への関心・意欲・態度 イ) 数学的な見方や考え方 ウ) 数学的な技能 エ) 数量や図形などについての知識・理解

設問番号 〔問題掲載 ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率(%)				無解答率(%)				グラフ(正答率・国との差)
			選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	
1 (2) 〔P52〕	投球面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投球距離を選ぶ	必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することができる	○			33.7	35.5	35.1	-1.4	1.5	1.2	0.9	0.6	-10.0
4 (2)	正方形ABCDを平行四辺形ABCDに変えても、AとEとFとなることの証明を完成させる	発展的に考え、条件を加えた場合について証明することができる	○			46.5	47.1	49.6	-3.1	24.6	23.5	18.6	6.0	
6 (1)	中心角の大きさxと半径の長さyの間にある関係について、正しい記述を選ぶ	与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断できる	○			42.6	43.8	46.5	-3.9	2.3	2.0	1.3	1.0	
1 (3)	球体の明るさを2倍にするための投球面の面積の考え方を選び、その理由を説明する	事象を式的意味に即して説明し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる	○			7.8	9.2	11.7	-3.9	11.5	9.1	5.6	5.9	
5 (3)	2名のある落とし物を1個1点、ない落とし物を1個2点として集料するとき、集料する学校の決め方として正しい記述を選ぶ	振り返り立てて与えられた情報に沿って、事象を数学的に表現し、その意味を解釈することができる	○			63.0	63.7	67.3	-4.3	2.4	2.1	1.5	0.9	
4 (1)	証明で用いた三角形の合同を指数として、証明した二と以外に新たにわかることを選ぶ	証明を振り返り、新たな性質を見いだすことができる	○			37.7	39.1	42.5	-4.8	1.9	1.6	1.2	0.7	
3 (2)	四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように点Fの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	図形に着目して与えられた結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することができる	○			16.0	18.8	21.2	-5.2	58.9	53.8	48.2	10.7	
1 (1)	投球距離と投球面の高さの関係を式で表す	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	○			23.8	27.0	29.3	-5.5	28.5	25.7	21.1	7.4	
3 (1)	ポップアップカードを90°に傾いたとき、四角形EFGHが正方形になる場合のEFの長さを求める	平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確に捉えることができる	○			36.8	38.7	42.6	-5.8	13.4	11.8	8.7	4.7	
5 (2)	2回目の調査の1物の状態がなくなったとしたとき、正しい記述を選ぶ理由を、グラフを基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	○			17.4	20.6	23.3	-5.9	39.2	35.4	29.7	9.5	
2 (2)	連続する3つの整数の和が中央の整数の3倍になることとを説明を完成させる	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	○			36.4	39.4	43.1	-6.7	35.7	31.3	24.0	11.7	
2 (1)	連続する3つの整数の和が19、20、21のとき、それらの和が中央の整数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	○			71.7	73.3	78.8	-7.1	9.2	9.2	6.0	3.2	
2 (3)	連続する5つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	○			56.2	57.9	63.8	-7.6	28.5	25.8	19.4	9.1	
6 (2) 〔P71〕	底面になる円の半径の長さが8cmのとき、蓋や式から、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する	与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる	○			23.2	26.8	30.8	-7.6	27.4	22.8	17.1	10.3	
5 (1) 〔P70〕	1回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を選ぶ	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	○			30.6	34.3	39.1	-8.5	36.2	32.0	26.8	9.4	

[中学校 理科：知識7問 活用18問]

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 自然現象への関心・態度 イ) 科学的な思考・表現 ウ) 観察・実験の技能 エ) 自然現象についての知識・理解

設問番号 〔問題掲載 ページ〕	設問の概要	出題の趣旨	枠組み		問題形式			正答率(%)				無解答率(%)				グラフ(正答率:国との差)	
			知識問題	活用問題	選択式	短答式	記述式	食数市	岡山県	国	国との差	食数市	岡山県	国	国との差	優先順位	国との差
2 (2) 〔P53〕	天気図から風向を読み取り、その風向を示している風向計を選ぶ	天気図から風向を読み取り、風向計を使って風向を説明することができる	○		○			51.4	48.1	48.6	2.8	0.6	0.8	0.5	0.1	25	▼ -10.0
8 (1)	背骨のある動物の名称を答える	背骨のある動物、セキツイ動物と表すことができる	○			○	65.3	65.0	63.9	1.4	11.0	11.5	10.4	0.6	24		
7 (1)	消化酵素によって、デンプンが最終的に分解された物質の名称を選ぶ	デンプンが消化酵素によって分解されて、最終的にできる物質の名称を答えることができる	○		○		73.1	71.5	72.2	0.9	1.3	1.2	0.9	0.4	23		
6 (1)	音の波形を比較し、音の高さが高くなった相図として、正しいものを選ぶ	日常生活の場面において、音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘することができる	○		○		40.2	40.4	40.1	0.1	1.1	1.2	0.8	0.3	22		
4 (2)	ヒトの「目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらない」という条件に合う方法を選ぶ	他者の考えた実験の方法を検討して改善し、適切な方法を説明することができる	○		○		49.3	50.1	50.3	-1.0	1.4	1.4	1.1	0.3	21		
3 (2)	上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ	一定の時間に多くの雨が降る原因を探る実験を計画することができる	○		○		37.9	39.7	39.0	-1.1	0.9	0.9	0.8	0.1	20		
2 (1)	天気図から風力を読み取る	天気図から風力を読み取ることができる	○			○	76.7	75.5	77.9	-1.2	12.2	11.8	9.0	3.2	19		
2 (3)	湿った布が結露に沿って上昇してできる雲について、その原因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する	他者の考えを検討して改善し、水の状態変化と関連付けて霧の成因を正しく説明することができる	○		○		12.7	14.6	14.5	-1.8	10.6	9.1	6.7	3.9	18		
8 (2)	えらぶための離回数の平均値を求める理由として適切なものを選ぶ	平均値を求める場面において、平均値を求める理由を説明することができる	○		○		53.8	54.6	55.7	-1.9	1.7	1.6	1.4	0.3	17		
1 (5)	ペーキングパウダーの原材料で、気体の発生に関係しているのが、炭酸水素ナトリウムであることを特定するための対照実験を選ぶ	炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係していることを特定するための対照実験を計画することができる	○		○		49.4	51.4	51.7	-2.3	0.9	1.0	0.8	0.1	15		
1 (6)	他者の考えを検討して改善し、炭酸水素ナトリウムとエーエーの混合物を加酸したときの化学変化の説明として最も適切なものを選ぶ	他者の考えを検討して改善し、混合物を加酸したときの化学変化を説明することができる	○		○		55.4	55.2	57.7	-2.3	1.5	1.5	1.2	0.3	15		

3 (1)	13時から16時の四つの気象観測の記録から、最も高い湿度を選ぶ	露点を測定する場面において、最も高い湿度の時刻を指摘することができる	○	○		33.6	36.4	36.5	-2.9	0.8	0.8	0.6	0.2	14	
4 (1)	実験の結果から、凸レンズによる実像ができるとき、像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ	凸レンズによってできる像を調べ実験の結果を分析して解釈し、規則性を指摘することができる	○	○		40.7	40.4	43.7	-3.0	0.8	0.9	0.6	0.2	13	
5 (1)	抵抗に加わる電圧と流れる電流から、抵抗の大きさを計算して求める	オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる	○	○		56.3	56.9	59.6	-3.3	19.3	19.7	15.6	3.7	12	
1 (2)	同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと炭酸ナトリウムを加えておき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを調べ	実験の結果を分析して解釈し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘することができる	○	○		29.2	31.1	32.6	-3.4	0.6	0.5	0.3	0.3	11	
6 (2)	管の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に導かれる結果を予想して選ぶ	管の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画することができる	○	○		26.4	27.9	29.9	-3.5	1.3	1.4	1.0	0.3	10	
1 (3)	水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する	二酸化炭素の体積を量る場面において、水上置換法では正確に量れない理由を説明することができる	○	○		49.4	53.5	53.0	-3.6	23.2	20.5	18.8	4.4	9	
1 (1) 化学式	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	塩化ナトリウムを化学式で表すことができる	○	○		75.7	76.4	79.6	-3.9	0.5	0.5	0.3	0.2	7	
1 (4)	炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の減少のグラフから、温度と化学変化の関連として適切なものを選ぶ	グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取ることができる	○	○		69.7	71.5	73.6	-3.9	0.7	0.6	0.4	0.3	7	
1 (1) 濃度	濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれを質量を求めることができる	○	○		40.9	44.0	45.0	-4.1	22.4	20.9	17.6	4.8	6	
7 (2)	キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した形として適切なものを選ぶ	実験の結果を分析して解釈し、キウイフルーツはゼラチンを分解することを指摘することができる	○	○		71.9	73.0	76.4	-4.5	1.5	1.5	1.1	0.4	5	
7 (3)	キウイフルーツの上に置いたゼリーの筒れ方に違いが導かれたという新たな疑問から、適切な問題を記述する	思いだした問題を基に、適切な問題を設定することができる	○	○		51.9	53.1	57.3	-5.4	34.3	32.7	27.8	6.5	4	
5 (2)	電磁石を動かさず、スイッチを入れたら切り切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する	振衝の仕組みを示す場面において、スイッチの入切りによる磁界の変化を説明することができる	○	○		50.7	55.9	56.8	-6.1	38.9	33.8	30.7	8.2	3	
8 (3) (P73)	課題に対して適切な（課題に正対した）考察になるよう修正する	他者の考察を評価して改善し、課題に対して適切な（課題に正対した）考察を記述することができる	○	○		41.0	42.6	47.4	-6.4	32.5	30.7	25.5	7.0	2	
2 (4) (P72)	上空を飛行中の飛行機内の電子子の崩壊のみを検出する実験について、空気を抜く操作に対応する飛行機の状況を描く	気圧の変化で電子子が崩壊が崩らむらむらについてモデルを使った実験を計画することができる	○	○		54.4	59.0	62.2	-7.8	0.7	0.7	0.5	0.2	1	

(5) 平均正答率が全国平均を上回り、その差が大きい主な問題から

(平均正答率が全国平均を上回る問題がない教科については、全国平均との差が最も小さい問題を取り上げる)

小学校国語A

1

二 1 から3までの文の 部 のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

3 びょういん に行く。

3

次は、代表委員会に出された「美化委員会からの提案の一部」と、それを聞いている六年生代表の「青木さんの心の中の声」です。A・B・Cは、どのような聞き方をしていますか。それらについて説明しているものを、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

【美化委員会からの提案の一部】

最近、校内のよここれが気になります。みなさんは、そうじに一生けん命取り組んでいますか。中には、おしゃべりばかりしている人や取りかかりがおそい人もいます。

そこで美化委員会から、来月の全校美化週間に、おいて取り組むことを、次のように提案します。

それは、「さ・し・す」を合い言葉に取り組むことです。

さ……さっと取りかかり

し……しずかに

す……すみずみずまで

せ……せいっぱい

そ……そうじをしよう

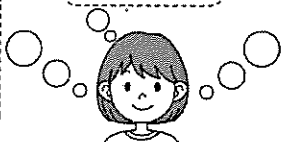
これらを合い言葉に、みんなで力を合わせ、きれいな学校にしていきたいましよう。(提案が続く)

【青木さんの心の中の声】

A そうじに対する取り組みの問題などをとくに、提案しているんだな。

B 六年生は、「さ」と取りかかり」と「すみずみずまで」については、あまりできていないような気がするわ。

C 低学年にも分かりやすいな。これなら、そうじのときに合い言葉として声をかけ合うことになるだろうから、きつと効果が上がるわ。



1 提案の内容と自分たちの様子とを関係付けながら聞いている。

2 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。

3 どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。

4 提案に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。

5 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。

読書という
〔正答〕

市	55.7
国	53.0
差	0.3

病院
〔正答〕

市	83.9
国	74.9
差	9.0

〔出題の趣旨〕

- 話の内容に対する聞き方を工夫することができるかどうかをみる。

〔出題の趣旨〕

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

小学校算数A

平均正答率が全国平均を上回り、その差が大きい問題から

2 次の計算をしましょう。

(2) $6.79 - 0.8$

〔正答〕 69.7

市	77.5
国	69.5
差	8.0

〔出題の趣旨〕

○ 末尾のそろっていない小数の減法の計算をすることができるかどうかをみる。

1 次の問題に答えましょう。

(1) $8.9 - 0.78$ のおよその答えとしてふさわしいものを、下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.1
- 2 1
- 3 0.8
- 4 8

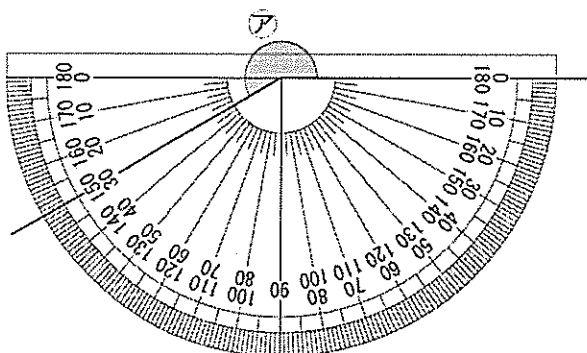
〔正答〕 4

市	77.2
国	71.0
差	6.2

〔出題の趣旨〕

○ 小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができるかどうかをみる。

4 (2) アの角の大きさは何度ですか。答えを書きましょう。



〔正答〕 210

市	62.3
国	58.0
差	4.3

〔出題の趣旨〕

○ 180° や 360° を基に分度器を用いて 180° よりも大きい角の大きさを求めることができるかどうかをみる。

4

小学校算数B

平均正答率が全国平均を上回り、その差が大きい問題から

児童会活動で、ペットボトルのキャップを集めています。4月から7月(1) 四捨五入して計算します。次の(1)の式に入る数と、(2)に入る数を書きま
までの間に集める目標は、10000個でした。7月までの4か月間に集めた
個数は、下の表のとおりです。

月	4月	5月	6月	7月
個数(個)	1891	1982	2903	2473

次の会話を読んで、あとの問いに答えましょう。

まなぶ

集めた個数の合計は、目標に達しているかな。

はるか

目標に達しているかどうかなら、およその数にして計算すれば
わかります。

およその数にする方法は、次の3通りがあります。

- ・ 四捨五入する
- ・ 切り捨てる
- ・ 切り上げる

ゆうと

切り捨てて、千の位までのおよその数にして計算すると、
次のようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	1000	1000	2000	2000

$1000 + 1000 + 2000 + 2000 = 6000$

実際の数より小さい数にして和が6000だから、集めた個数
の合計が6000個以上であることはわかります。

四捨五入して、千の位までのおよその数にして計算すると、次の
ようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	□	□	□	□

$\square + \square + \square + \square = \textcircled{2}$

実際の数に近い数にして和が(2)だから、集めた個数の合計が
約(2)個であることはわかります。

市	59.0
国	52.6
差	6.4

〔正答〕

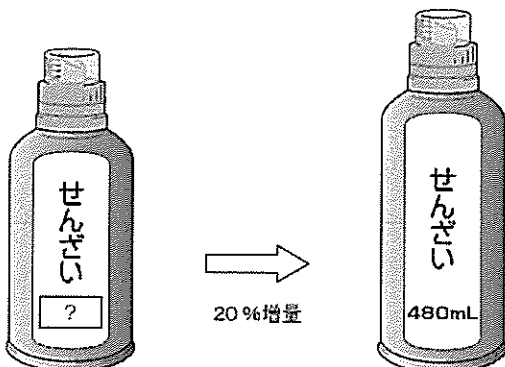
① $2000 + 2000$
 $+ 3000 + 2000$
② 9000

〔出題の趣旨〕

- 四捨五入して千の位までのおよそ
の数にしてけいさんすることができ
るかどうかをみる。

2

(2) 次に、せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して
売られていました。増量後のせんざいの量は480mLです。
増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と答えを書きましよう。



〔正答〕

式： $480 \div 1.2,$
 $\square \times 1.2 = 480$
 $480 \div 120 \times 100$
答え：400

市	14.8
国	13.1
差	1.7

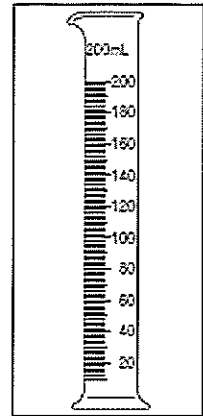
〔出題の趣旨〕

- 示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求め
ることができるかどうかをみる。

小学校理科

平均正答率が全国平均を上回り、その差が大きい問題から

3 (4) としおさんは、砂糖水をつくるために、水 100 mL を右のような器具を使ってはかりとることにしました。
としおさんが使った器具の名前を書きましょう。



としおさんが使った器具

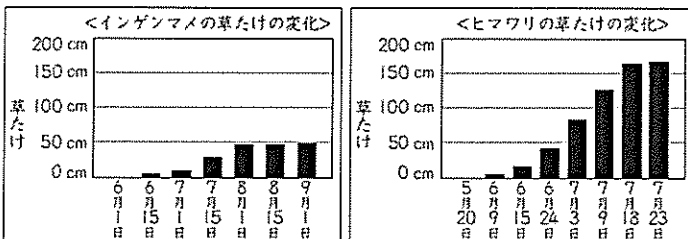
〔正答〕
メスシリンダー

〔出題の趣旨〕
○ メスシリンダーの名称を理解しているかどうかをみる。

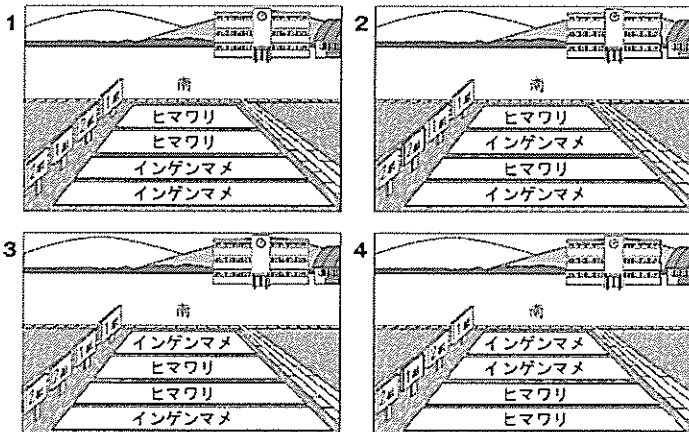
市	74.7
国	70.7
差	4.0

2

(5) よし子さんたちの学年では、1組と2組が同時にインゲンマメ（つるなし）とヒマワリの種子を学校の畑にまくことにしました。
下の観察記録は、よし子さんが過去にインゲンマメとヒマワリをそれぞれ育てたときの草たけの変化を記録したものです。



これらの観察記録から、インゲンマメとヒマワリの種子を学校の畑のどの場所にまくと、成長するまでインゲンマメとヒマワリの両方に日光がよくあたると考えられますか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。



〔正答〕 例

【番号】 4

【わけ】 インゲンマメはヒマワリより草たけが低いのでインゲンマメを南側に植えるとヒマワリのかげにならないから。

市	47.3
国	44.2
差	3.1

〔出題の趣旨〕

○ 植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述できるかどうかをみる。

中学校国語A

平均正答率が全国平均を上回り、その差が大きい問題から

9

六次は、松田洋子さんが、職場体験でお世話になった小山健さんへ書いたお礼の「手紙の下書き」です。松田さんは、「手紙の下書き」の後付けの部分について正しく直すことにしました。直し方とその理由として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

〔手紙の下書き〕

拝啓

さわやかな季節となりました。お元気で過ごしてはいかがでしょうか。

さて、先日の職場体験の際には大変お世話になりました。私たちの質問についてねいにお答えくださりましてありがとうございます。

最後になりましたが、皆様の御健康をお祈りいたします。

敬具

十月一日

松田洋子

小山健様

- 1 差出人が誰かを明確にするため、「松田洋子」は、「十月一日」と同じ高さを書く。
- 2 相手に敬意を示すため、「小山健様」は、「松田洋子」や「十月一日」より高い位置を書く。
- 3 名前の方が重要なので、「松田洋子」と「小山健様」は、「十月一日」より高い位置を書く。
- 4 日付は重要ではない情報なので、「十月一日」は、「松田洋子」や「小山健様」と同じ高さを書く。

2

〔正答〕

市	64.3
国	58.2
差	6.1

〔出題の趣旨〕

- 手紙の書き方を理解して欠けるかどうかをみる。

- 1 発表の順番を場の様子に応じて変える場合。
- 2 聞き手から出された質問に答える場合。
- 3 時間に余裕があるときに付け足して説明する場合。
- 4 言葉の抑揚や強弱、調の取り方を変えする場合。


森田さんが「フリット」の「その他の情報」の欄に書いたことは、どのような場合に役立てることができますか。次の1から4までの中から、適切なものを二つ選びなさい。

【フリット】

1 オカリナとは


- ハトに似た形の笛
- イタリア生まれ

イタリア語では「小さなガチョウ」



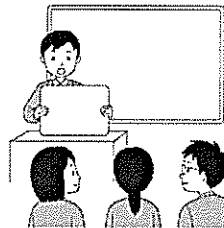
ハト

2 オカリナの特徴



3 気軽に楽しめる

- リコーダーと似た指使い
- 持ち運びやすい大きさ
- 簡単な曲ならすぐ吹ける!!



【ノート】

発表の流れ	その他の情報 ※ 状況に応じて使用する
■ 聞き手を見てから話し始める	
○ 始めの言葉	
1 ○ オカリナはハトの形に似た楽器。	
○ イタリアで生まれ世界に広まった。	
○ イタリア語では「小さなガチョウ」という意味である。	※ ガチョウの頭の形に似ている、体の形に似ているなど様々な説がある。
■ 問いかけて聞き置く	
2 ○ 材質は? → 素焼きの陶器のものが多く、	※ プラスチックのものもある。
○ 音色は? → 吹き口から息を吹き込むと、温かみのある音色が出る。	
○ 指穴の数は? → 12個が多い。(表側に10個、裏側に2個)	※ イタリアでは、10個が多い。
3 ○ リコーダーと同じような指使い。	
○ ポケットに入るくらいの大きさ。	※ いろいろな形や大きさのオカリナがある。
○ 簡単な曲なら、すぐ吹けるようになり、吹ける曲が増えると、ますます楽しくなる。	
■ 質問がないか尋ねる	
○ 終わりの言葉	

1 森田さんは、国語の時間に、自分の特技についてスピーチをする学習に取り組んでいます。次は、発表の際に使用する「フリット」と「フリット」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。「フリット」と「フリット」にある1から3は、発表の際に使う順番を表します。

(注) フリットは説明に用いる、種や絵、言葉などを書いた大判のカード。

〔正答〕

2・3

市	71.7
国	73.2
差	-1.5

【出題の趣旨】

- 状況に応じて、資料を活用して話すことができるかどうかをみる。

中学校数学A

平均正答率が全国平均を上回り、その差が大きい問題から

3 (3) 次の問題について考えます。

問題

ある中学校の今年度の入学者数は男女合わせて223人で、昨年度の入学者数より3人増えました。男子は昨年度より5%増え、女子は昨年度より3%減りました。昨年度の男子の入学者数と女子の入学者数を求めなさい。

この問題を解くために、昨年度の男子の入学者数を x 人、昨年度の女子の入学者数を y 人として、連立方程式をつくります。

次の に当てはまる式として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

$$\begin{cases} x + y = 220 \\ \text{ } = 223 \end{cases}$$

ア $0.05x + 0.03y$

イ $0.05x - 0.03y$

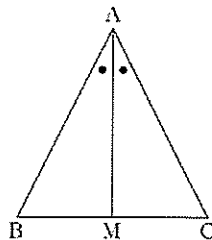
ウ $1.05x + 0.97y$

エ $1.05x - 0.97y$

7

(2) $AB = AC$ である二等辺三角形ABCがあります。∠Aの二等分線をひき、底辺BCとの交点をMとします。

このとき、 $BM = CM$ であることを次のように証明しました。



証明

△ABMと△ACMにおいて、

仮定から、 $AB = AC$ …①

$\angle BAM = \angle CAM$ …②

共通な辺だから、 $AM = AM$ …③

①、②、③より、 がそれぞれ等しいから、

$\triangle ABM \cong \triangle ACM$

合同な図形の対応する辺は等しいから、

$BM = CM$

上の証明の に当てはまる言葉を書きなさい。

〔正答〕 ウ

市	49.4
国	44.9
差	4.5

〔出題の趣旨〕

- 具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をるくることができるかどうかをみる。

〔正答〕 2組の辺とその間の角

市	76.2
国	76.1
差	0.1

〔出題の趣旨〕

- 状況に応じて、資料を活用して話すことができるかどうかをみる。

中学校数学B

平均正答率の全国平均との差が小さい問題から

- 1 健治さんの学校では、新入生歓迎会のときに、体育館で部活動紹介の映像を流します。映像は、プロジェクターでスクリーンに映し出します。そこで、健治さんはプロジェクターの置き場所を決めるために、プロジェクターについてインターネットで調べました。

健治さんが調べたこと

投影距離 (m)	投影画面の大きさ		
	高さ(m)	幅(m)	面積(m ²)
1.0	0.6	0.8	0.48
1.5	0.9	1.2	1.08
2.0	1.2	1.6	1.92

- 投影画面の大きさは、投影距離によって変わる。
- 投影画面の形は、調整されて、いつも長方形になる。
- 投影画面の高さや幅は、投影距離に比例する。

〔正答〕

ウ

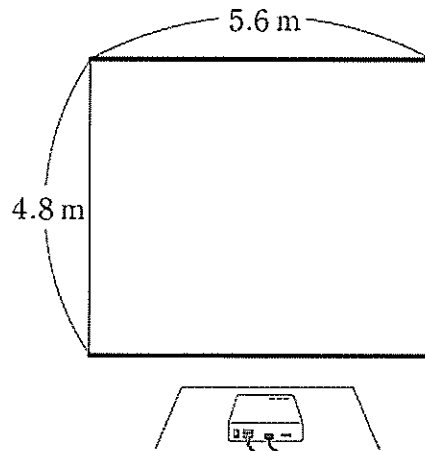
市	33.7
国	35.1
差	-1.4

〔出題の趣旨〕

- 与えられた情報から必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈できるかどうかをみる。

- (2) スクリーンの高さは4.8 m、幅は5.6 mです。投影画面を、スクリーンからはみ出ないようにして、できるだけ大きく映し出すためには、投影距離を何mにすればよいですか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

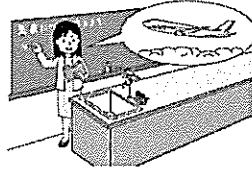
- ア 5 m
- イ 6 m
- ウ 7 m
- エ 8 m



中学校理科

平均正答率が全国平均を上回り、その差が大きい問題から

- 2 若菜さんの学級では、先生が飛行機に乗ったときに撮影した写真や天気図などの資料をもとに気象について学習しました。
 (1)から(4)までの各問いに答えなさい。



資料1 (S島に関すること)

- 図1は、1月24日に南側から撮影したS島の写真。
- 図2は、S島を撮影したときの天気図。
- 図3は、S島を撮影したときの、風の吹く方向に沿ったS島の断面図。
- 表は、S島の1月23日から1月25日までの1日の平均気温と1日の平均湿度の記録。

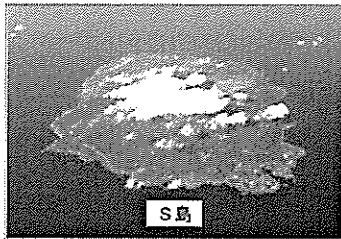


図1

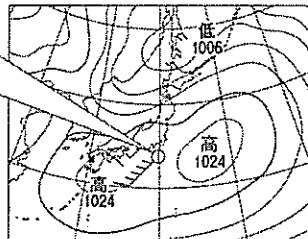


図2

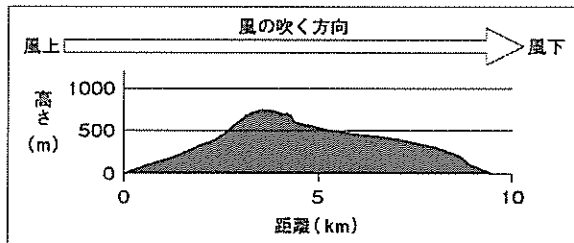


図3

表	月 日	1月23日	1月24日	1月25日
1日の平均気温(℃)		5.9	9.2	12.6
1日の平均湿度(%)		66	71	64

- (2) 図2で示されているS島における風向を、図4の風向計を用いて観測したとき、風向計を真上から見たものとして最も適切なものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

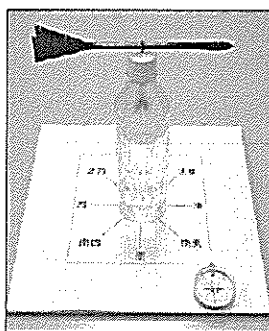


図4

ア イ ウ エ

[正答] ア

市	51.4
国	48.6
差	2.8

[出題の趣旨]

- 天気の記号から風向を読み取り、風向計を使って風向を観測することができるかどうかをみる。

(6) 平均正答率が全国平均を下回り、
その差が大きい主な問題から

小学校国語A

5

次は、読書のことについて書かれた新聞の「コラム」(筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事)です。この「コラム」は、全体の内容が1から5までのまとまりに分かれています。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

【コラム】

記事の中の▼は、まとまりを表す印です。

1 ▼四月二十三日
は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書という



ものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、『セロ弾きのゴーシュ』を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事なえがき方やたくみな描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

【正答】
読書という

市	15.6
国	19.8
差	-4.2

※1 「描写」…かき表すこと。
※2 「童心」…子供の心。

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点(。)や読点(、)、かぎ「『』」は字数にふくみません。

【出題の趣旨】

- 新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることができるかどうかをみる。

【学習指導に当たって】

- コラムは、客観的な事実を伝える報道記事とは異なる特徴をもつ。
コラムの特徴を捉えるためには、例えば、実際の新聞の中からコラムを集めて多読し、どのような話題が取り上げられているのか、それに対して筆者がどのような考えをもっているのかを比べ読みするような指導が考えられる。その際さまざまな表現の工夫(書き出し、引用、事実、意見、ユーモア、読者への問いかけ等)に着目することが重要である。

小学校国語A

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

7

六年生の星野さんは、次の【作品募集の案内の一部】を読んだ。◆応募のきまりを守っていないものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【作品募集の案内の一部】

心に残る夏の風景 絵画コンクール 2015

夏祭りや自然体験など、あなたの心に残る夏の風景を絵にかいて送ってください。

◆応募のきまり

対象・部門

- *小学校1・2・3年生部門
- *小学校4・5・6年生部門



作品

- 未発表作品で、出品は一人1点に限ります。
- 四つ切サイズ(380×540mm)の画用紙を使用してください。
- 絵の具、クレヨンなどを自由に使い、かいてください。
- 作品の裏面に、作品の題名、学校名、学年、氏名、自宅の住所を記入してください。
- 作品は、お返しできません。

しめ切り

2015年(平成27年)9月18日(金)必着

◆入賞者発表

2015年(平成27年)10月末日までに入賞した人に郵送で連絡します。

- 1 絵の具と色えんぴつを使ってかいた絵を応募する。
- 2 夏休みに行われた花火大会の様子を絵にかいて応募する。
- 3 かいた絵を二〇一五年九月十八日までに届くように送る。
- 4 夏祭りの絵と虫取りをしたときの絵を二枚かいて両方送る。

〔正答〕

4

市	70.3
国	73.9
差	-3.6

〔出題の趣旨〕

- 作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 募集案内やポスターなどの文章や資料から情報を的確に捉えるためには、全体の構成や見出しなどに着目し、文章や資料全体の書き方の特徴を捉えた上で、必要な情報を読み取るように指導する必要がある。

具体的には、例えば、構成の異なる複数の募集案内やポスターなどを提示し、全体の構成や見出し、項目の順序性などに着目して比べ読みをする。その際、読み手の立場からそれぞれの工夫をはじめ、十分な理解が得られない点なども見つけ出すように指導することが考えられる。募集案内やポスターなどでは、応募に必要な条件を示す語句(～までに、必着、以上、未済等)が使われることがあり、それらの語句の意味を的確に捉えていくことが必要である。語句を辞書で調べたり、具体的な場面と結び付けて使ったりしながら習得できるように指導していくことが大切である。

小学校国語B

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

1

二 木村さんたちは、次の「大見出しの候補」の三つの中から「実際の大見出し」として①を選びました。
 ①の大見出しは、どのような効果をもたらして、どのように表現の仕方をつくっていますか。その説明として最も適切なものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【大見出しの候補】

- ① 交流で広がる 心の輪
- ② お手玉 あやとり コツつかむ
- ③ 昔遊びをしてみませんか



【実際の大見出し】

- ① 交流で広がる 心の輪

- 1 伝えたいことの内容を明確にするために、強調したい言葉を最後に置いている。
- 2 読み手の興味を引くために、昔遊びをすすめる言い方で呼びかけている。
- 3 実際に活動した内容を具体的に示すために、遊びの種類を複数並べている。

1
〔正答〕

市	66.8
国	70.8
差	-4.0

〔出題の趣旨〕

- 目的や意図に応じ、記事に見出しを付けることができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 見出しは、事実だけを伝える場合のみならず、感想や意見を沿えて端的に伝える場合がある。見出しを付けるためには、伝えたいことの内容を明確にした上で様々な表現の仕方とその効果について検討する必要がある。

具体的には、同じ題材を取り扱った様々な記事を集め、それぞれの見出しを比べるなどして、それらの効果について話し合うような指導が考えられる。さらに、書き手の意図を推論しながら、自分なりに考えた見出しを発表し合い、互いの感想や意見を交流するような指導も考えられる。

小学校算数A

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

1 (3) $6.3 + 0.22$ の答えを 6.52 と求めました。

この答えが正しいかどうかを、次のように確かめます。

下の㉗, ㉘, ㉙に入る数を書きましょう。

㉗ - ㉘ を計算して、㉙ になるかどうかを確かめます。

〔正答〕

㉗ 6.52 ㉘ 0.22 ㉙ 6.3

㉗ 6.52 ㉘ 6.3 ㉙ 0.22

市	76.7
国	82.0
差	-5.3

〔出題の趣旨〕

- 加法における計算の確かめの方法を理解しているかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 過去の調査結果から、計算の結果が大きく誤っていても、そのことに気付かず、結果を修正していない実態が見られた。数量や図形についてのおよその大きさや形を捉えることによって、解決の見通しをもつことができ、大きな誤りを防ぐことができるため、計算の結果の見積もりや確かめの習慣を身に付けることは大切である。

指導に当たっては、目的に応じて計算の結果の見積もりをする場を適宜位置付け、計算の仕方や結果について振り返って判断できるようにすることが大切である。

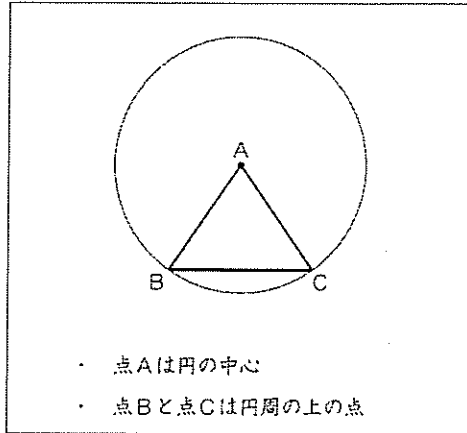
また、加法や減法、乗法と除法の相互関係を理解したり、成り立つ性質を理解したりすることは、計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりする上で重要である。形式的な確かめの処理だけでなく、確かめの処理を加法や減法、乗法と除法の相互関係から振り返る活動を位置付け、確かめの処理の理解を深めることも大切である。

小学校算数A

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

5

次の図のように、円を使ってかいた三角形ABCは、二等辺三角形になります。



(1) 三角形ABCが二等辺三角形になるのは、円にどのような持ちようがあるからですか。

下の 1 から 4 までの中から最もふさわしいものを選んで、その番号を書きましょう。

- 1 1つの円の半径の長さは、どれも同じ長さになる。
- 2 円周の長さは、直径の長さの約3.14倍になる。
- 3 1つの円の直径の長さは、半径の長さの2倍になる。
- 4 1つの円の直径の長さは、円周の上の2つの点を結ぶ直線の中でいちばん長い。

〔正答〕

1

市	46.2
国	50.6
差	-4.4

〔出題の趣旨〕

○ 示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

○ 図形を構成するなどの活動を行うことは、児童にとっては楽しいものである。しかし、図形を構成するねらいや目的が不明確な学習となる場合がある。図形を構成するなどの活動は、図形の性質などを発見したり、それを確かめ表現したりする意義がある。そのため、児童がねらいをもって活動し、明らかになったことをまとめたり確かめたりすることが大切である。円の中に構成された三角形が二等辺三角形になる根拠を、円の性質に基づいて理解することをねらいとしている。その際、単に二等辺三角形ができていることを確認するだけでなく、なぜ二等辺三角形ができるのかについて考えることで、半径の長さが等しい円の性質に基づいていることを理解することが大切である。

指導に当たっては、例えば、円の中に構成した三角形が二等辺三角形である場合と二等辺三角形でない場合を比較し、なぜ、円の中心と円周上の二点を頂点とした三角形が二等辺三角形になるのかを考え、説明する活動が考えられる。

小学校算数B

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

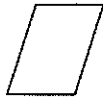
1

平行四辺形には、次の持ちようがあります。

平行四辺形の持ちよう

平行四辺形は、

- ㉞ 向かい合った2組の辺がそれぞれ平行である。
- ㉟ 向かい合った2組の角の大きさがそれぞれ等しい。
- ㊱ 向かい合った2組の辺の長さがそれぞれ等しい。



〔正答〕

ア

市	51.9
国	54.6
差	-2.7

〔出題の趣旨〕

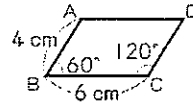
- 平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解しているかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

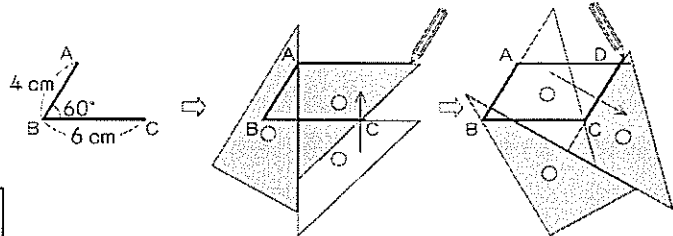
- 図形の約束や性質を理解するためには、辺の長さや角の大きさなど、図形の構成要素やその関係に着目して図形を構成したり観察したりする活動を取り入れることが大切である。

指導に当たっては、観察の結果から見いだした図形の約束や性質を他の図形と比較して、その特徴を明らかにすることが考えられる。また、条件を変えて図形を再構成する活動を取り入れることも考えられる。特に、作図の指導に当たっては、作図の手順を形式的に指導するのではなく、図形の特徴と対応させて理解できるようにすることが大切である。例えば、作図が図形のどのような約束や性質を用いているかを考え、それを基に作図をする活動が考えられる。また、作図の活動の過程においても、図形のどのような約束や性質を用いているかについて、確かめることも考えられる。

2) 次の平行四辺形ABCDをかきます。



下の図のように、最初に、角Bが 60° になるように辺ABと辺BCをかきました。そして、三角定規を使って点Aを通る直線と点Cを通る直線をかきました。



上の三角定規を使ったかき方は、左の平行四辺形の持ちようの中の、どの持ちようをもとにしていますか。
左の平行四辺形の持ちようの㉞、㉟、㊱の中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

小学校算数B

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

4

児童会活動で、ペットボトルのキャップを集めています。4月から7月までの間に集める目標は、10000個でした。7月までの4か月間に集めた個数は、下の表のとおりです。

7月までの4か月間に集めた個数				
月	4月	5月	6月	7月
個数(個)	1891	1982	2903	2473

次の会話を読んで、あとの問いに答えましょう。



まなぶ

集めた個数の合計は、目標に達しているかな。



はるか

目標に達しているかどうかなら、およその数にして計算すればわかります。

およその数にする方法は、次の3通りがあります。

- ・ 四捨五入する
- ・ 切り捨てる
- ・ 切り上げる



ゆうと

切り捨てて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	1000	1000	2000	2000
1000 + 1000 + 2000 + 2000 = 6000				
実際の数より小さい数にして和が6000だから、集めた個数の合計が6000個以上であることはわかります。				

(2) 切り上げて計算します。次の③に入るふさわしい文を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

切り上げて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	2000	2000	3000	3000
2000 + 2000 + 3000 + 3000 = 10000				
③				

ことがわかります。

- 1 実際の数より大きい数にして和が10000だから、目標に達している
- 2 実際の数より大きい数にして和が10000だから、目標に達していない
- 3 実際の数より小さい数にして和が10000だから、目標に達している
- 4 実際の数より小さい数にして和が10000だから、目標に達していない

〔正答〕

2

市	59.9
国	62.0
差	-2.1

〔出題の趣旨〕

- 切り上げた場合の見積りの結果を基に、目標に達しているかについて判断できるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 概数や概算の指導においては、何のために見積もるのかについて、その目的を明らかにすることが大切である。また、目的に応じた処理をするために見積り方を選択したり、処理の結果のおよその大きさを判断したりすることが大切である。さらには、処理の結果を基に得られた結果と実際の数を比較して分かることを説明することも、目的に応じた処理のよさを理解する上で大切である。

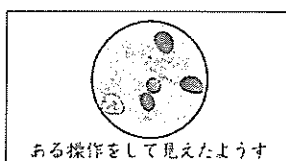
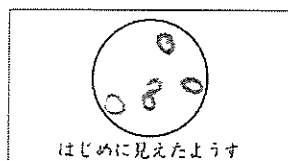
指導に当たっては、例えば、本問題のような日常生活の場面を取り上げ、処理方法や結果に基づくとどのような判断ができるのかを明らかにしていくことが考えられる。

小学校理科

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

2

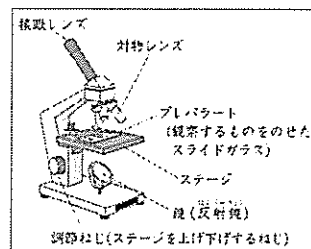
(4) (3)の器具を使って観察したところ、はじめは左下の図のように明るいのにぼやけて見えました。そこで、器具を操作したところ、右下の図のようにはっきり見えるようになりました。どのような操作をしましたか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 鏡の向きを調節した。
- 2 調節ねじを回した。
- 3 プレパラートを動かした。
- 4 対物レンズをちがう倍率のものにした。

【参考】

'3) よし子さんは、インゲンマメの子葉の中にある養分を調べするために、下の図のような器具を使って観察することになりました。よし子さんが使った器具の名前を書きましょう。



よし子さんが使った器具

【正答】

2

市	31.0
国	37.9
差	-6.9

【出題の趣旨】

- 顕微鏡の適切な操作方法を身に付けているかどうかをみる。

【学習指導に当たって】

- 観察器具を扱う際には、単なる作業として扱うのではなく、自然の事物・現象を観察する中で対象や目的に応じて意図的に操作できる技能として習得することが大切である。

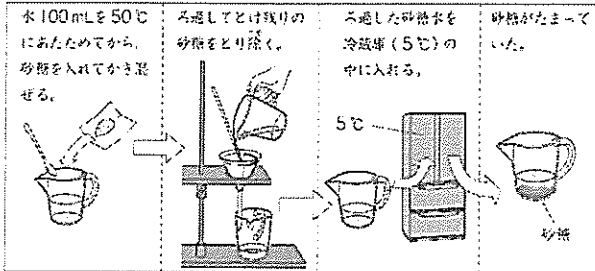
指導に当たっては、まず、顕微鏡の台数を可能な限り整備するとともに、試行錯誤しながら観察、実験を進められるように十分な時間を確保することが重要である。次に、実際の観察器具を用いて具体的な操作方法を示すとともに、教科書等を活用して、適切な操作について理解できるようにすることが大切である。例えば、顕微鏡の場合、児童が顕微鏡を実際に操作する時間を十分に確保した上で、演示用の顕微鏡で見えている様子をテレビモニターに映し出しながら、それぞれの操作によって見えている様子がどのように変わっていくのか捉えられるようにすることが考えられる。

小学校理科

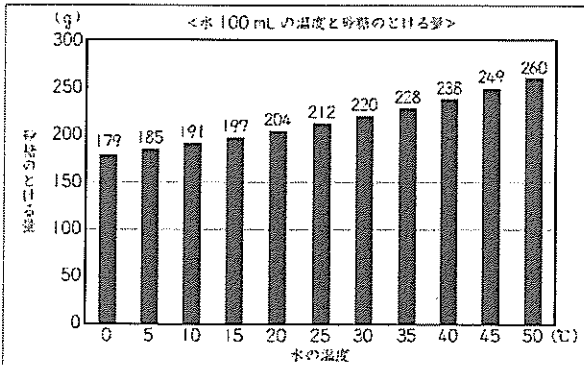
平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

3

6) としおさんは、20℃の水 100 mL を 50℃にあたためてから、砂糖を入れてかき混ぜました。すると、とけ残りが出たので、ろ過してから砂糖水を冷蔵庫で保管しました。次の日、冷蔵庫からとり出すと、瓶に砂糖がたまっていました。



そこで、としおさんは、水の温度と砂糖が水にとける量との関係調べました。



グラフから、ろ過してとけ残った砂糖をとり除いた 50℃の砂糖水には、260 g の砂糖がとけていることがわかるね。

としおさん



水の温度が下がると、砂糖のとける量が減っていくんだね。

ゆかりさん

前のページのグラフから考えると、砂糖水を 5℃の冷蔵庫からとり出したとき、とけきれなくなってたまっていた砂糖は約何 g だと考えられますか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましよう。また、その番号を選んだわけを書きましよう。

- 1 約 19 g
- 2 約 75 g
- 3 約 185 g
- 4 約 260 g

市	23.2
国	28.9
差	-5.7

【出題の趣旨】

○ 析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できるかどうかをみる。

【正答】

【番号】 2

【わけ】 (例) 5℃まで冷やすと 185 g までしかとけず、とけきれなくなって出てくるのは、50℃と 5℃のときのとける量の差だから。

【学習指導に当たって】

○ 自然の事物・現象を客観的に捉えるためには、表やグラフを基に考察することを通して全体の傾向を読み取ることが大切である。

指導に当たっては、実験の結果を表やグラフに整理し、モデル化やイメージ化したり、自分なりの解釈を表現したりできるようにすることが考えられる。また、結果から言えることを科学的な言葉や概念を使ってまとめたりすることが重要である。例えば、いろいろな水温における砂糖の溶ける量をグラフに整理することで実験のデータを全体的に見直し、水温が下がると砂糖の溶ける量が減るとい傾向性について、食塩が溶ける量と比較したり、図や文で表現したりする活動などが考えられる。

中学校国語A

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔二〕までのあらすじ〕 山あいの小さな小学校に高田三郎が転校してきた。三郎が何かすると風が吹いたので、子供たちは伝説の風の神の子である「風の又三郎」かもしれないと思った。翌朝、一郎と嘉助が運動場で待っているところに三郎が現れた。

〔宮沢賢治「風の又三郎」による。〕

〔注1〕 にわか＝突然。

〔注2〕 ぜんたい＝いったい。

〔注3〕 何問あるか＝どのくらい長さがあるか。

〔注4〕 きろきろ＝きよろきよろ。

〔注5〕 あいつ＝あいつ。

〔宮沢賢治「風の又三郎」による。〕

― 線部①「どてをぐるっとまわって、どんどん正門をはいつて来ると」とありますが、ここでの表現の工夫として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 擬態語が用いられている。
- 2 倒置法が用いられている。
- 3 体言止めが用いられている。
- 4 直喩が用いられている。

〔正答〕

1

市	51.2
国	58.3
差	-7.1

〔出題の趣旨〕

- 表現の技法について理解しているかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 比喩や反復などの表現の技法を理解する際には、小学校での学習を踏まえた上で、文章中の具体的な表現に即して、表現の技法の名称を確認するとともにその効果について考えることが大切である。その上で、多様な表現の技法について体系的に整理することが重要である。

中学校国語A

平均正答率が全国平均をき下回り、その差が大きい問題から

1 石川さんは、調べた言葉についてスピーチをします。次は、リハーサルの様子の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。()の中は、頭の中で考えていることを表します。

場面①

私は、「さじ加減」という言葉を調べました。さじ加減は、もともと菜の分量を調節することを表す言葉ですが、次のような使い方をすることもあります。

「さじ」って何のことかな。

あれ、「さじ」の意味が分からないよ。うだな。

石川さん

場面②

あっ、「さじ」とは、スプーンのことです。料理番組で、大さじ、小さじという言葉を聞いたことがあると思います。

「さじ」ってスプーンのことだったのか。

石川さん

場面③

使い方として、例えば「この企画の成否は、彼のさじ加減一つで決まる。」のように言います。

「せいひ」って何かな。

石川さん

二 石川さんは、リハーサル後に友達から、場面③の「線部「成否」の意味が分かりづらいので、聞いて分かりやすい表現に直した方がよいというアドバイスももらいました。どのような言葉に直すとよいですか。次の () に当てはまる言葉を十字以内で書きなさい。

この企画が

() は、彼のさじ加減一つで決まる。

〔正答〕 (例)
成功するかしないか
(九字)

市	60.2
国	65.0
差	-4.8

〔出題の趣旨〕

- 聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話すことができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 話をする際には、聞き手に分かりやすい言葉を用いるように意識することが重要である。時には、聞き手の反応を踏まえて、語句の選択や言葉遣いなどに適宜変更を加えながら話すように指導する場合もある。その際には、話し言葉と書き言葉の違いを「言葉の特徴やきまりに関する事項」と関連付けて指導することが大切である。

中学校国語B

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

男は騒込みざま蕎麦屋の足もとにへなへなと崩れ折れると、ただもう「ああ、ああ、ああ」と声にならぬ叫び声で叫びた。

「これ、これ」

と蕎麦屋は驚愕に言った、

「これ、いったいどうしました？ 誰かあなたに怪我でも負わせましたか？」

「いや、誰も私に怪我をさせたのじゃない」

と男は、はあ、はあ、喘ぎながら言った、

「ただ……」

「ただあなたをおどしただけですか？」

と屋台現きの蕎麦屋はいたって冷淡にたずねた、「それでは追廻ぎですか？」

「いや追廻ぎじゃない、追廻ぎじゃない」

と恐怖におびえた男は囁いた、

「出たんだよ……出たんだよ女が。——お嬢様で、——そしてあの女が見せたもの……ああ、あの女が私に見せたものをおまえさん」

「へえ！ もし、ひょいとして女があなたに見せたものはこんなものではございませんでしたか？」

と一声言うと蕎麦屋は、その自分の顔を手でつるりと撫でた、——と産端に蕎麦屋の顔は大きな卵のようにつべらぼうとなった。

た……そして、それと同時に、屋台の火も消えた。

(小泉八雲「蝸」による)

(注1) 小泉八雲は明治期の小説家、英文学者。旧名ラファカディオ・ハーン。

(注2) お女中や当時の女性の敬称。

(注3) 交際費や娯楽や言葉遣いが冷淡でとげとげしい様子。

(注4) 追廻ぎは通行人をおどして衣類や金品などを奪うこと。また、それをする人。

三 中学生の山田さんは、以前に読んだ昔話「のつべらぼう」の最後は、蕎麦屋がのつべらぼうになったところで終わっていたことを思い出しました。あなたは、「蝸」の「……そして、それと同時に、屋台の火も消えた。」という最後の一文は、あった方がよいと思いますか、ない方がよいと思いますか、あなたの考えとその理由を、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1 最後の一文があった方がよいか、ない方がよいかを明確にして書くこと。
- 条件2 話の展開を取り上げて、理由を書くこと。
- 条件3 五十文字以上、八十文字以内で書くこと。

〔正答〕 (例)

最後の一文はあった方がよいと思います。なぜなら、最後が真っ暗闇で終われば、暗闇の恐ろしさが繰り返される展開になるため、読み手の恐怖感が一層増すと思うからです。(八十文字)

市	26.8
国	31.1
差	-4.3

〔出題の趣旨〕

- 文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 文章の展開について自分の考えをもたせるには、作品の全体像を捉えた上で場面の役割等を分析的に考えさせる必要がある。
例えば、この場面がなかったらどのように作品全体像の印象が変わるかなどについて話し合う学習活動が考えられる。その際、話し合いを通して見えてきた文章の特徴が、作品について自分の考えをもつ際の根拠となっていることを確認することが大切である。

3

次の文章は、小泉八雲が英語で書いた怪談「箱」の翻訳の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらずじ」 東京の赤坂にある紀伊国坂は、昔、日が暮れた後は人通りが少なく寂しい場所、人を化かす「箱」という生き物が出没すると言われていた。そのため、人々は日没後、一人でこの坂をのぼるよりも、回り道をしたものだった。ある日の夜、急ぎ足で紀伊国坂をのぼっていた一人の男が、お隣のそばで若い女がうずくまって泣いていることに気付いた。男は心配して若い女に声をかけたが、返事はない。

「お女中」

と男はできるだけやさしい口調でまた声をかけた、

「まあ、どうか、私の言うことをお聞きなさい。……この辺はどう見ても若い女が夜分に出歩くような場所ではない。お願いだから、お泣きなさんな。さ、どうすれば私がお後立に立つか、それを言うてください。」

ゆっくりと女は腰をあげて立ちあがったが、しかし背を男の方に向けたまま、顔を長い袖に隠して泣きじゃくった。男はそっと女の肩に手をやって、言い聞かせた、

「お女中、お女中……まあ私の言うことをお聞きなさい、ほんのちよつとの間でいいから。……お女中、お女中」

……するとその時、女はこちらを振り向いて袖を落すと、自分の顔をその手でつるりと拭いた。——と見れば女の顔には眼もなければ、鼻もない、口もない、——アツと男は悲鳴をあげて逃げ出した。

紀伊国坂を上の方へ、上の方へ無我夢中で逃げ出した。あたりは一面の真暗闇。前方は空無でなにか一つ見えない。怖さのあまりよう後を振り向くこともできず男はひた走りに走った。するとやつとこのことで提灯の火が見えたが、遠くの方で辛うじて螢の火ぐらいの大きさに見えた。男が一目散でそれに向って駆寄ると、道端で屋台を開いた蕎麦の提灯とわかった。しかしあまた目にあつた後では、どんな光であれ、どんな人であれ、とにかくそこに口の利ける人がいるというだけでそれで良かった。

二 本文中の「 」で囲まれた部分の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 暗闇の中で見付けた光が小さくなっていく情景と、男の希望が失われていく様子を重ねて書いている。
- 2 暗闇の中で見付けた光が大きくなっていく情景と、男が懸命に救いを求める様子を重ねて書いている。
- 3 暗闇の中で見付けた光が小さくなっていく情景と、男の緊張感が徐々に高まる様子を重ねて書いている。
- 4 暗闇の中で見付けた光が大きくなっていく情景と、男が必死に相手に立ち向かう様子を重ねて書いている。

〔出題の趣旨〕

- 表現の工夫について自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 表現の工夫は、心情や情景の描写など、部分的な叙述に、関わるものがある。この構成や展開に、関わるものがある。この構成や展開に、関わるものがある。この構成や展開に、関わるものがある。

2

〔正答〕

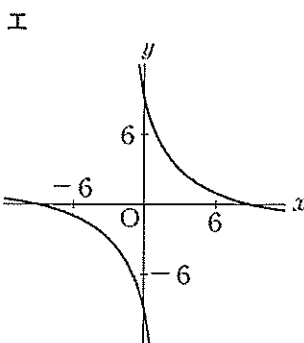
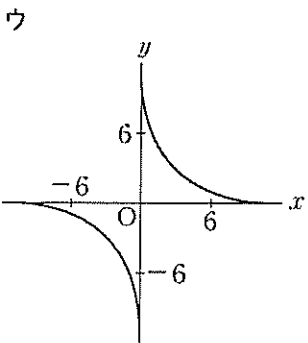
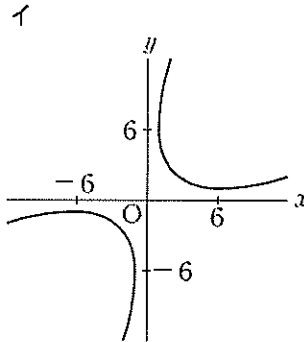
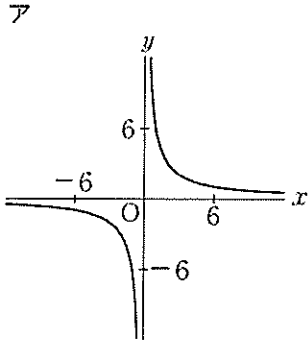
市	79.0
国	82.6
差	-3.6

中学校数学A

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

10 次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 下のアからエまでの中に、反比例 $y = \frac{6}{x}$ のグラフがあります。
正しいものを1つ選びなさい。



〔正答〕 ア

市	53.8
国	61.7
差	-7.9

〔出題の趣旨〕

- 反比例のグラフが x 軸、 y 軸に限りなく近づく2つのなめらかな曲線であることを理解しているかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 反比例のグラフは、 x 軸と y 軸のそれぞれに限りなく近づくが交わらない2つの曲線となることを理解できるようにするために、与えられた式について x 、 y の値が整数になる座標の点だけを調べるのではなく、 x 、 y が整数でない場合についても調べる活動を取り入れることが考えられる。

例えば、 x の値を0.1刻みなど細かくとってグラフの通る点を調べる活動を通して、グラフがなめらかな曲線になることを確認したり、 x の値を大きくしても y の値が0とならないことから、グラフは x 軸と y 軸のそれぞれに限りなく近づくが交わらないことを確認したりする場面を設定することが考えられる。

中学校数学A

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

- 15 (2) 1の目が出る確率が $\frac{1}{6}$ であるさいころがあります。このさいころを投げるとき、どのようなことがいえますか。下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 5回投げて、1の目が1回も出なかったとすれば、次に投げると必ず1の目が出る。
- イ 6回投げるとき、そのうち1回は必ず1の目が出る。
- ウ 6回投げるとき、1から6までの目が必ず1回ずつ出る。
- エ 30回投げるとき、そのうち1の目は必ず5回出る。
- オ 3000回投げるとき、1の目はおよそ500回出る。

〔正答〕

オ

市	47.7
国	55.4
差	-7.7

〔出題の趣旨〕

- 多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解しているかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 確率の意味を理解できるようにするために、ある試行を多数回繰り返したとき、試行回数全体に対するある事柄の起こる回数の割合が一定の値に近づいていくことを、観察や実験などを通して捉える活動を取り入れることが考えられる。

例えば、さいころを多数回投げる実験で、投げる回数を多くしたとき、投げた回数に対するそれぞれの目の出る回数の割合がいずれも $\frac{1}{6}$ に近づくことを、実感を伴って理解する活動を取り入れるが大切である。

さらに、例えば、画びょうを多数回投げる実験で、投げる回数を多くしたとき、投げた回数に対する針が上向きになる回数の割合が一定の値に近づいていくことを体験的に捉えられるようにする機会を設けることが大切である。

中学校数学B

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

5 生活委員会では、落とし物を減らすために、全15学級で落とし物調査を行うことにしました。

調査を同じ日数で2回行ったところで、拓也さんと優香さんは、その結果を表とグラフにまとめました。優香さんが作ったグラフでは、例えば、落とし物の個数が12個以上15個以下だった学級が、1回目、2回目とも1学級ずつあったことを表しています。



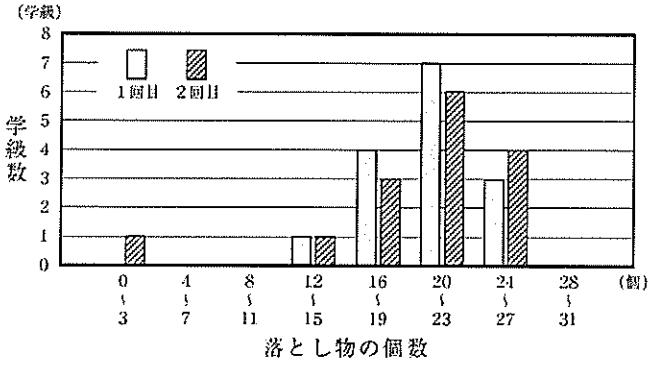
〔正答〕
 $201 \div 305$ または、
 $201 \div 305$ を用いた正しい式

拓也さんが作った表

		(個)	
		1回目	2回目
種類	文房具	201	212
	ハンカチ・タオル	49	28
	その他	55	50
落とし物の合計		305	290
落とし物の合計の平均値 (1学級あたりの落とし物の個数)		20.3	19.3

市	30.6
国	39.1
差	-8.5

優香さんが作ったグラフ



〔出題の趣旨〕
 ○ 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができるかどうかをみる。

(1) 拓也さんが作った表の1回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を答えなさい。ただし、実際に割合を求める必要はありません。

〔学習指導に当たって〕

○ 目的に応じて選択した情報を数学的に表現できるようにするために、事象を目的に応じて数値化し、その結果を用いて判断する場面を設定することが考えられる。

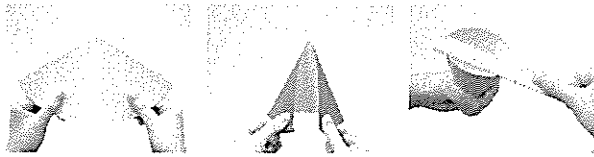
例えば、割合で表したり、重み付けをした数値を用いたりする場面を設定することが考えられる。また、重み付けをして数値化する際には、不確定な事象を式を用いて表したり、その式から状況を把握したりする場面を設定することが考えられる。

また、Aに対するBの割合は $B \div A$ で求められるが、 $A \div B$ と考える生徒がいると考えられるので、Aを1としたときのBの値という割合の意味を確認する場面を設定することが大切である。

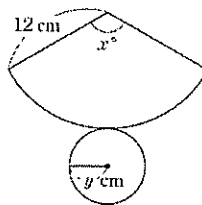
中学校数学B

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

- 6 大輝さんは、半径が12 cmのおうぎ形を側面とする円錐を作ろうとしています。そこで、中心角がいろいろな大きさのおうぎ形を作り、それらを側面とする円錐の底面の円について考えています。



大輝さんは、側面になるおうぎ形の中心角の大きさ x° と、底面になる円の半径の長さ y cmの関係を調べ、次のような表にまとめました。



中心角の大きさ x°	90	120	150	180
半径の長さ y (cm)	3	4	5	6

大輝さんは、上の表から、 x と y の関係が次の式で表されることに気づきました。

$$y = \frac{x}{30}$$

- (2) 大輝さんは、底面になる円の半径が8 cmの円錐を作るために、側面になるおうぎ形の中心角の大きさが何度になるかを考えています。前ページの表や式を用いると、中心角の大きさを求めることができます。用いるものを下のア、イの中から1つ選び、それを使って中心角の大きさを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

- ア 中心角の大きさと半径の長さの表
イ 中心角の大きさと半径の長さの関係を表す式

〔正答例〕

〈アを選択した場合〉

表から変化の割合を調べて、 y が8のときの x の値を求める。

〈イを選択した場合〉

中心角の大きさと半径の長さの関係を表す式に $y=8$ を代入して、 x の値を求める。

市	23.2
国	30.8
差	-7.6

〔出題の趣旨〕

- 与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

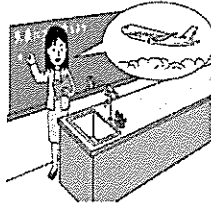
〔学習指導に当たって〕

- 授業を行う際には、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法について、「用いるもの」を表と式に限定した上で、「用い方」として、「表の数値の変化や対応をみて、 y が8のときの x の値を求める。」や「式に $y=8$ を代入して、 x の値を求める。」などと説明できるようにすることが考えられる。さらに、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求めた後に、問題解決の過程を振り返り、問題解決の方法を説明する活動を取り入れることも大切である。

中学校理科

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

2 若菜さんの学級では、先生が飛行機に乗ったときに撮影した写真や天気図などの資料をもとに気象について学習しました。



若菜さんたちは、資料2を見て、「飛行機内の菓子袋のふくらみ」の変化に驚きました。そこで、「飛行機の状況」によって菓子袋のふくらみが変わることを調べる実験を計画しました。

資料2 (飛行機内の菓子袋のふくらみに関すること)

- 「飛行機内の菓子袋のふくらみ」が、「飛行機の状況」によって変わる(図5)。
- 飛行機内の気圧は、「地上」よりも「上空」の方が低くなる。

	離陸前 (地上)	上昇中 (上空)	水平飛行中 (上空)	下降中 (上空)
飛行機の状況				
飛行機内の菓子袋のふくらみ				

図5

計画した実験

【方法】

- ① 「小さな菓子袋」を、「ビン(圧力に耐えられるもの)」の中に入れ、「空気を抜く装置」を「ビン」の口に取りつける(図6)。
- ② 「ビン」の中の空気を少しずつ抜いていく。
- ③ 空気を抜く操作をやめる。

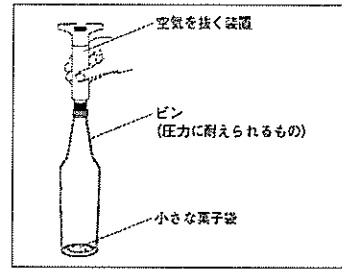


図6

(4) 【方法】②の下線部は、図5のどの「飛行機の状況」を見立てたものですか。見立てたものとして最も適切なものを、下のAからEまでの中から1つ選びなさい。

- A 離陸前(地上)
- I 上昇中(上空)
- ウ 水平飛行中(上空)
- E 下降中(上空)

〔正答例〕

I

市	54.4
国	62.2
差	-7.8

〔出題の趣旨〕

- モデルを使った実験で、空気を徐々に抜いていく操作によって生じる気圧の変化に対応する「飛行機の状況」を計画することができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 自然の事物・現象とモデルの対応を認識できるようにすることは、自然の事物・現象についての原理や法則を理解する上で大切である。地学的領域では、理科室において再現したり実験したりすることが困難な事物・現象を扱う際には、モデルを使った実験を行うことがある。その際、実験の方法や道具などが自然の事物・現象の何と対応しているのかを明らかにして実験を行うことは大切である。

指導に当たっては、例えば、身の回りのものを利用した簡単な方法で実験を行い、自然の事物・現象とモデルの対応を認識する学習場面を設定することが考えられる。

中学校理科

平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい問題から

- 8 隼さんは飼育している数種類の魚を観察していたところ、季節によってえらぶたの動きに違いがあることに気づき、実験を行いました。
 (1)から(3)までの各問に答えなさい。



レポートの一部

課題Ⅰ

ハゼのえらぶたの開閉回数は、水温によってどのように変わるのだろうか。

【方法】

- ① ハゼを3匹用意する。
- ② 水温の条件を変え、それ以外の条件は同じにして、30秒間のえらぶたの開閉回数を数える(図1)。
- ③ 3匹の平均値を求める。

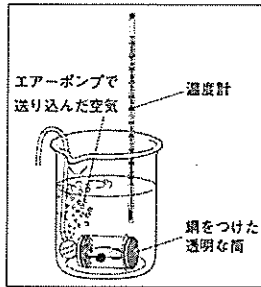


図1

【結果】

表1

水温	10℃	15℃	20℃	25℃
ハゼA	7	14	28	42
ハゼB	7	20	32	38
ハゼC	11	18	36	48
平均値	8	17	32	43

【考察】

【結果】の表1から、水温が10℃から25℃の範囲では、ハゼのえらぶたの開閉回数は、水温が高くなると増えると考えられる。

レポートの続き

課題Ⅱ

ほかの種類魚でも、えらぶたの開閉回数は、水温が高くなると増えるのだろうか。

【方法】

フナとナマズをそれぞれ3匹用意し、課題Ⅰと同様に実験を行い、課題Ⅰのハゼの【結果】と比較する。

【結果】

表2

水温	10℃	15℃	20℃	25℃
ハゼ	8	17	32	43
フナ	36	42	52	57
ナマズ	28	32	44	65

* 数値はそれぞれ3匹の平均値

【考察】

【結果】の表2から、水温が10℃から25℃の範囲では、同じ水温でも、魚の種類によってえらぶたの開閉回数は異なると考えられる。

- (3) 【考察】は、課題Ⅱに対して適切とはいえません。課題Ⅱに対して適切な【考察】となるように、下線を書き直しなさい。

【正答例】

フナと(や)ナマズのえらぶたの開閉回数は、水温が高くなると増える。

市	41.0
国	47.4
差	-6.4

【出題の趣旨】

- フナ、ナマズとハゼのえらぶたの開閉回数の実験結果を比較して、他者の考察を検討して改善し、「ほかの種類魚でも、えらぶたの開閉回数は、水温が高くなると増えるのだろうか。」という課題に対して適切な考察(課題に正対した考察)を記述することができるかどうかをみる。

【学習指導に当たって】

- 科学的な思考力や表現力を育成する上で、課題に対して適切に考察(課題に正対した考察)できるようにすることは大切である。
 指導に当たっては、自分の考察を振り返ったり、他者の考察を協働で検討して改善したりする学習場面を設定することが考えられる。その際、「考察が設定した課題に正対しているかどうか」に留意して指導することが大切である。

4 児童生徒質問紙から見える特徴

(1) 各質問事項の肯定的な回答の割合

【小学校】

番号	質問事項	市	国	差
(1)	朝食を毎日食べていますか	96.1	95.6	+0.5
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.7	79.5	-0.8
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.5	91.0	+0.5
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.5	94.5	0.0
(5)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	75.6	76.4	-0.8
(6)	自分には、よいところがあると思いますか	76.4	76.4	0.0
(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	52.4	51.2	+1.2
(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	92.9	92.9	0.0
(9)	将来の夢や目標を持っていますか	86.2	86.5	-0.3
(10)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除く) ※2時間未満	42.4	40.7	+1.7
(11)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか ※2時間未満	70.9	69.7	+1.2
(12)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームをする時間は除く) ※2時間未満	89.5	90.2	-0.7
(13)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の時間も含む) ※1時間以上	67.9	62.7	+5.2
(14)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の時間も含む) ※1時間以上	57.7	56.7	+1.0
(15)	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	50.0	47.0	+3.0
(16)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) ※30分以上	40.9	37.7	+3.2
(17)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(漫画や雑誌等は除く)を読んだり、借りたりするために、学校の図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか ※週に1～3回以上	36.5	40.7	-4.2
(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	80.2	79.5	+0.7
(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	97.3	96.6	+0.7
(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	62.4	62.8	-0.4
(21)	家で、学校の宿題をしていますか	96.8	96.8	0.0
(22)	家で、学校の授業の予習をしていますか	45.2	43.4	+1.8
(23)	家で、学校の授業の復習をしていますか	55.4	54.5	+0.9
(24)	学校に行くのは楽しいと思いますか	88.2	87.0	+1.2
(25)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていていると思いますか	76.2	80.5	-4.3
(26)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	86.2	86.1	+0.1
(27)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	57.1	66.9	-9.8
(28)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	62.9	63.9	-1.0
(29)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.0	44.8	+1.2
(30)	新聞を読んでいますか ※週に1～3回以上	25.2	23.7	+1.5
(31)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	83.9	84.3	-0.4
(32)	学校のきまりを守っていますか	92.2	91.1	+1.1
(33)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	94.3	93.9	+0.4
(34)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.6	96.2	+0.4
(35)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.8	93.7	+1.1
(36)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	85.8	85.4	+0.4
(37)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	58.6	65.8	-7.2
(38)	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	87.9	86.7	+0.2
(39)	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	84.9	85.2	-0.3
(40)	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	69.7	74.2	-4.5

番号	質問事項	市	国	差
(41)	5年生までに受けた授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	90.0	86.3	+3.7
(42)	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	79.8	75.3	+4.5
(43)	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	94.0	87.1	+6.9
(44)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか ※思わない	37.1	39.8	-2.7
(45)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか ※思わない	43.3	44.7	-1.4
(46)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	66.0	66.9	-0.9
(47)	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか ※尋ねる・調べる	93.5	94.2	-0.7
(48)	国語の勉強は好きですか	60.4	61.1	-0.7
(49)	国語の勉強は大切だと思いますか	91.7	92.0	-0.3
(50)	国語の授業の内容はよく分かりますか	80.6	82.0	-1.4
(51)	読書は好きですか	77.1	72.8	+4.3
(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.1	88.6	-0.5
(53)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	63.7	65.2	-1.5
(54)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	58.2	61.2	-3.0
(55)	国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いていると思いますか	71.1	72.7	-1.6
(56)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	75.1	77.2	-2.1
(57)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか ※最後まで努力した	81.0	77.7	+3.3
(58)	算数の勉強は好きですか	68.1	66.6	+1.5
(59)	算数の勉強は大切だと思いますか	94.0	93.1	+0.9
(60)	算数の授業の内容はよく分かりますか	79.2	81.0	-1.8
(61)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	78.7	77.5	+1.2
(62)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	80.4	79.6	+0.8
(63)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	69.9	67.7	+2.2
(64)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	90.3	+1.1
(65)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	79.2	79.1	+0.1
(66)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	79.3	80.6	-1.3
(67)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	84.0	83.8	+0.2
(68)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか ※最後まで努力した	76.7	73.3	+3.4
(69)	理科の勉強は好きですか	82.9	83.5	-0.6
(70)	理科の勉強は大切だと思いますか	87.0	86.9	+0.1
(71)	理科の授業の内容はよく分かりますか	87.4	87.9	-0.5
(72)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	85.5	86.9	-1.4
(73)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	67.4	69.3	-1.9
(74)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.7	74.5	-0.8
(75)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	28.5	28.8	-0.3
(76)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	56.3	54.9	+1.4
(77)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	84.8	90.0	-5.2
(78)	観察や実験を行うことは好きですか	89.5	90.1	-0.6
(79)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	75.5	75.3	+0.2
(80)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	80.0	80.4	-0.4
(81)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	67.7	67.1	+0.6
(82)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※最後まで努力した	79.2	76.1	+3.1
(83)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	86.4	83.3	+3.1
(84)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	69.4	67.6	+1.8
(85)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)	87.0	84.6	+2.4
(86)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	64.2	63.7	+0.5
(87)	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	79.9	79.6	+0.3

(1) 各質問事項の肯定的な回答の割合

【中学校】

番号	質問事項	市	国	差
(1)	朝食を毎日食べていますか	91.8	93.5	-1.7
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	74.4	75.2	-0.8
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	90.9	92.1	-1.2
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	92.9	94.2	-1.3
(5)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	69.6	68.8	+0.8
(6)	自分には、よいところがあると思いますか	68.7	68.1	+0.6
(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.9	49.6	+1.3
(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	93.2	93.0	+0.2
(9)	将来の夢や目標を持っていますか	69.8	71.7	-1.9
(10)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除く) ※2時間未満	37.7	44.2	-6.5
(11)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか ※2時間未満	56.6	63.5	-6.9
(12)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームをする時間は除く) ※2時間未満	65.5	68.4	-2.9
(13)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の時間も含む) ※1時間以上	54.7	69.0	-14.3
(14)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の時間も含む) ※1時間以上	50.9	68.7	-17.8
(15)	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	62.7	60.9	+1.8
(16)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) ※30分以上	31.4	30.6	+0.8
(17)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(漫画や雑誌等は除く)を読んだり、借りたりするために、学校の図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか ※週に1～3回以上	9.0	8.2	+0.8
(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	74.2	73.7	+0.5
(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	82.0	83.4	-1.4
(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	43.2	48.8	-5.6
(21)	家で、学校の宿題をしていますか	86.5	89.3	-2.8
(22)	家で、学校の授業の予習をしていますか	28.9	35.3	-6.4
(23)	家で、学校の授業の復習をしていますか	38.0	52.0	-14.0
(24)	学校に行くのは楽しいと思いますか	81.7	82.1	-0.4
(25)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか	71.8	78.3	-6.5
(26)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	79.0	84.2	-5.2
(27)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	38.3	44.8	-6.5
(28)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	53.5	55.9	-2.4
(29)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	30.2	32.9	-2.7
(30)	新聞を読んでいますか ※週に1～3回以上	18.7	18.8	-0.1
(31)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	82.3	83.9	-1.6
(32)	学校のきまりを守っていますか	93.1	94.4	-1.3
(33)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	95.1	94.9	+0.2
(34)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.7	93.7	+1.0
(35)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.4	93.7	-0.3
(36)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	73.8	74.6	-0.8
(37)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	48.2	58.0	-9.8
(38)	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	83.4	85.9	-2.5
(39)	1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	69.9	78.2	-8.3
(40)	1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	56.5	65.7	-9.2

番号	質問事項	市	国	差
(41)	1, 2年生のときに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	76.0	79.7	-3.7
(42)	1, 2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	53.6	59.3	-5.7
(43)	1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	68.5	73.7	-5.2
(44)	400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか ※思わない	30.4	35.6	-5.2
(45)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか ※思わない	29.5	35.5	-6.0
(46)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	56.6	62.9	-6.3
(47)	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか ※尋ねる・調べる	88.1	89.9	-1.8
(48)	国語の勉強は好きですか	58.9	60.5	-1.6
(49)	国語の勉強は大切だと思いますか	89.3	89.9	-0.6
(50)	国語の授業の内容はよく分かりますか	70.5	74.3	-3.8
(51)	読書は好きですか	68.6	67.9	+0.7
(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	83.0	84.2	-1.2
(53)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	49.5	59.2	-9.7
(54)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	43.5	54.0	-10.5
(55)	国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	57.0	65.7	-8.7
(56)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	65.5	70.6	-5.1
(57)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか ※最後まで努力した	71.3	76.4	-5.1
(58)	数学の勉強は好きですか	54.3	56.0	-1.7
(59)	数学の勉強は大切だと思いますか	82.5	82.6	-0.1
(60)	数学の授業の内容はよく分かりますか	67.0	71.6	-4.6
(61)	数学の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	90.3	91.5	-1.2
(62)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	66.8	69.8	-3.0
(63)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	39.4	40.9	-1.5
(64)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.6	72.5	+1.1
(65)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	62.6	67.5	-4.9
(66)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	67.3	70.1	-2.8
(67)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	78.6	80.6	-2.0
(68)	今回の数学の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか ※最後まで努力した	46.0	51.3	-5.3
(69)	理科の勉強は好きですか	60.3	61.9	-1.6
(70)	理科の勉強は大切だと思いますか	65.7	69.3	-3.6
(71)	理科の授業の内容はよく分かりますか	62.7	66.8	-4.1
(72)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	71.4	75.5	-4.1
(73)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	40.8	46.9	-6.1
(74)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	49.3	54.3	-5.0
(75)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	22.6	22.9	-0.3
(76)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	32.6	38.4	-5.8
(77)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	82.4	83.9	-1.5
(78)	観察や実験を行うことは好きですか	76.5	80.1	-3.6
(79)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	46.2	55.0	-8.8
(80)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	53.9	67.2	-13.3
(81)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	47.5	55.0	-7.5
(82)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※最後まで努力した	46.0	51.8	-5.8
(83)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	92.7	94.4	-1.7
(84)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	83.9	86.0	-2.1
(85)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)	91.5	90.6	+0.9
(86)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	77.6	76.6	+1.0
(87)	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	86.0	85.3	+0.7

(2) 肯定的な回答の割合が全国平均より高い質問（高い方から5問）

【小学校】

質問項目	市	国	差
(43)5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	94.0	87.1	+6.9
(42)5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	79.8	75.3	+4.5
(51)読書は好きですか	77.1	72.8	+4.3
(41)5年生までに受けた授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	90.0	86.3	+3.7
(63)算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	69.9	67.7	+2.2

【中学校】

質問項目	市	国	差
(7)友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.9	49.6	+1.3
(64)数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.6	72.5	+1.1
(34)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.7	93.7	+1.0
(5)難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	69.6	68.8	+0.8
(51)読書は好きですか	68.6	67.9	+0.7

○小学校では、授業における「目標の明示」や「学習の振り返り」等で肯定的な回答の割合が高く、昨年度配付した「岡山型学習指導のスタンダード」の活用について、各研修会等で市全体に周知し、授業改善に取り組んだ成果が現れていると考えられる。

○中学校では、友達との関係、自尊感情や規範意識に関する項目で肯定的な回答の割合が高く、同様の傾向が続いている。

○小・中学校ともに、算数・数学の学習内容の活用や有用性についての意識が高い。

○小・中学校ともに、「読書は好きですか」の項目で肯定的な回答の割合が高く、各校に学校図書館司書が置かれていることや「朝読書」「読み聞かせ」等の取組と相関があると考えられる。

(3) 肯定的な回答の割合が全国平均より低い質問（低い方から5問）

【小学校】

質問項目	市	国	差
(27)今住んでいる地域の行事に参加していますか	57.1	66.9	-9.8
(37)「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	58.6	65.8	-7.2
(40)5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	69.7	74.2	-4.5
(25)あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	76.2	80.5	-4.3
(54)国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	58.2	61.2	-3.0

【中学校】

質問項目	市	国	差
(23)家で、学校の授業の復習をしていますか。	38.0	52.0	-14.0
(54)国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	43.5	54.0	-10.5
(37)「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	48.2	58.0	-9.8
(53)国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	49.5	59.2	-9.7
(40)1,2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	56.5	65.7	-9.2

○小学校では、「地域の行事に参加していますか。」の項目が今年度も、全国との差が一番大きく、同様の傾向が続いている。

○中学校では、「家で、学校の授業の復習をしていますか。」の項目が今年度も、全国との差が一番大きく、同様の傾向が続いている。

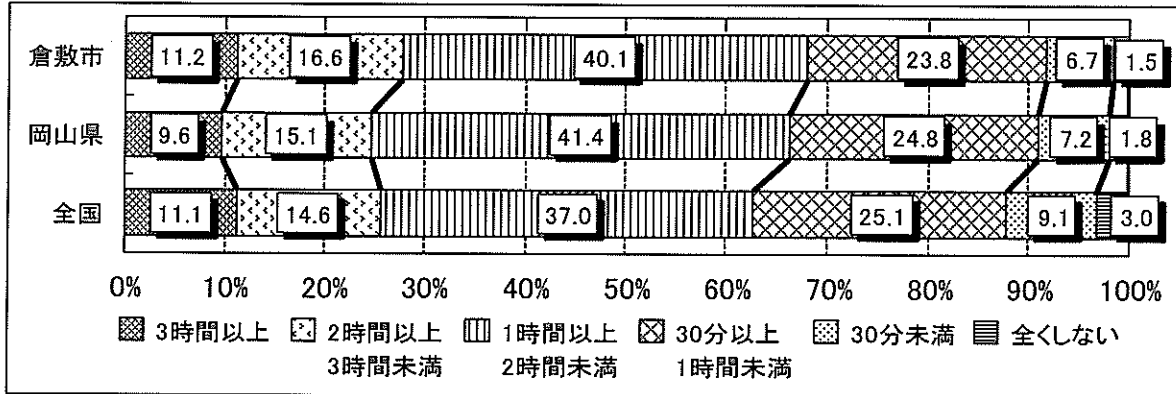
○小・中学校ともに、国語、特別活動や総合的な学習の時間の言語活動に関する項目で肯定的な回答の割合が低く、課題が見られる。

無回答の児童生徒がいるため、数値の合計が100%になっていない場合がある。

(4) 質問ごとの分析

① 学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師含む)

【小学校】※肯定的な回答の割合が高い



○平日に1時間以上学習する児童の割合

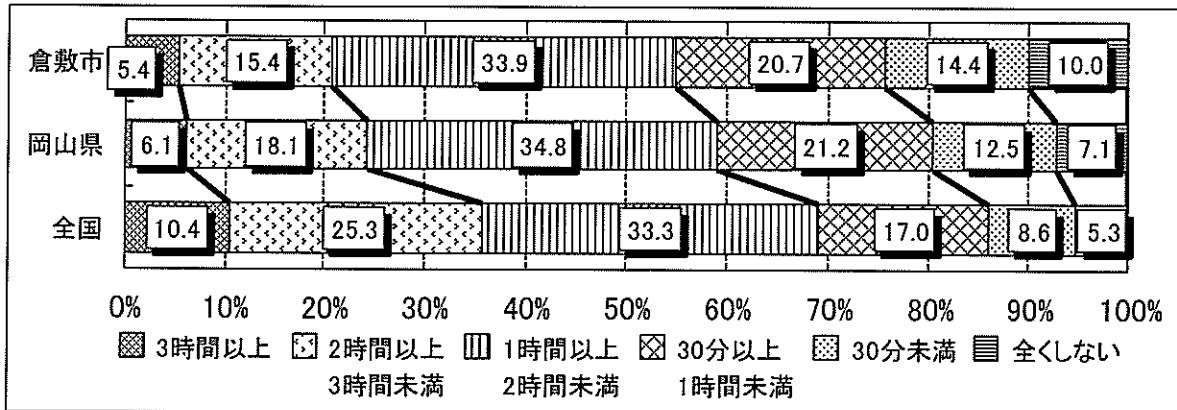
*H27 倉敷市：67.9 全国：62.7 差：+5.2

*H26 倉敷市：67.1 全国：62.0 差：+5.1

*H25 倉敷市：65.5 全国：63.2 差：+2.3

○小学校については、全国平均と比べて学習時間は多く、経年的に増加している。

【中学校】※肯定的な回答の割合が低い



○平日に1時間以上学習する生徒の割合

*H27 倉敷市：54.7 全国：69.0 差：-14.3

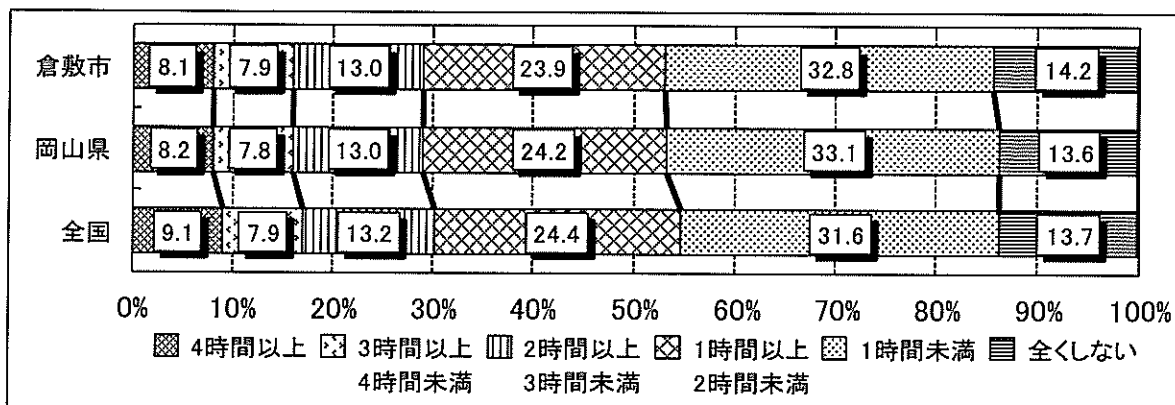
*H26 倉敷市：54.1 全国：67.9 差：-13.8

*H25 倉敷市：58.2 全国：68.6 差：-10.4

○全国平均と比べて学習時間が少なく、H26と比較して、1時間以上学習する生徒の割合はやや増えているが、全国平均との差は広がっており、引き続き重要な課題として捉える必要がある。

② 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。 ※携帯電話やスマートフォンも含めた質問はH26から

【小学校】



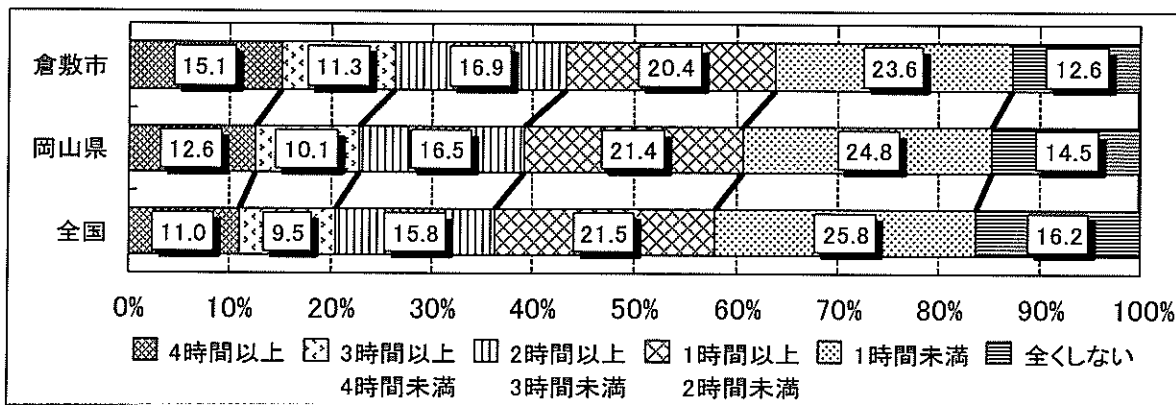
○平日に2時間以上ゲームをする児童の割合

*H27 倉敷市：29.0 全国：30.2 差：-1.2

*H26 倉敷市：30.3 全国：30.3 差：±0.0

○H26と比べて、ゲームをする時間がやや減っている。

【中学校】



○平日に2時間以上ゲームをする生徒の割合

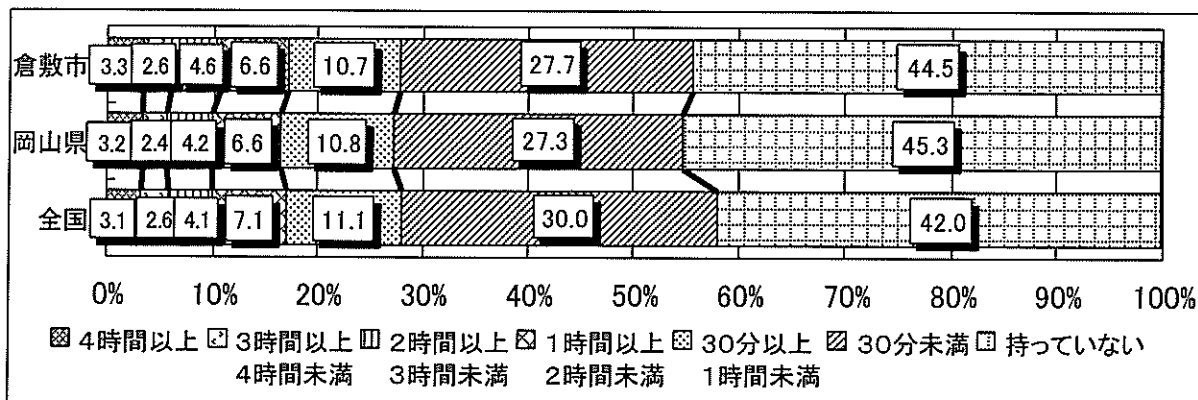
*H27 倉敷市：43.3 全国：36.3 差：+7.0

*H26 倉敷市：41.9 全国：35.4 差：+6.5

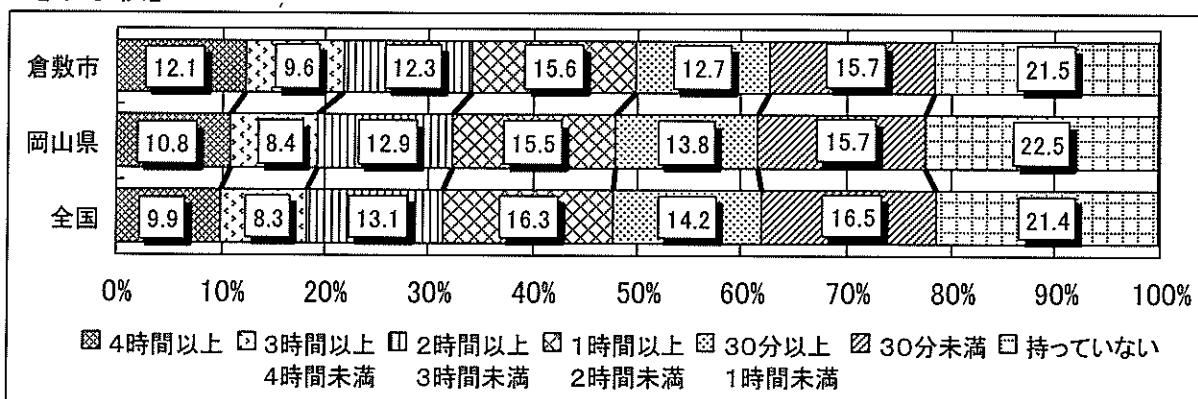
○H26と比べて、ゲームをする時間がやや増えている。全国平均との比較では+7.0ポイントで、課題として捉える必要がある。

③ 普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）※通話(通信)時間の質問はH26から

【小学校】



【中学校】



○通話(通信)時間が2時間以上の児童の割合(%)

	倉敷市	全国	差
H27	10.5	9.8	+0.7
H26	8.7	8.7	±0.0

○通話(通信)時間が2時間以上の生徒の割合(%)

	倉敷市	全国	差
H27	34.0	31.3	+2.7
H26	34.7	32.7	+2.0

○小6の携帯電話・スマートフォンの所持率(%)

	倉敷市	全国	差
H27	55.5	58.0	-2.5
H26	51.2	53.7	-2.5
H25	43.5	46.1	-2.6

○中3の携帯電話・スマートフォンの所持率(%)

	倉敷市	全国	差
H27	78.5	78.6	-0.1
H26	75.7	76.5	-0.8
H25	62.3	64.7	-2.4

○H26と比べて，通話(通信)時間は小学校ではやや増えているが，中学校ではやや減っている。携帯電話・スマートフォンの所持率は年々増えていることから，特に中学校で子どもミーティングに取り組んだり，使用方法や使用時間について家庭・学校等で真剣に話し合ったりした成果が現れていると考えられる。小学校も含めて，携帯電話やスマートフォンの使い方等について，今後も継続的に話し合いを積み重ね，よりよい関わり方を追求していくことが大切である。

5 総括

(1) 学力調査の結果から【○成果 ●成果及び課題 ●課題】

◆小学校国語について

- A問題では、個別の設問において、昨年度は最大で-7.6ポイントあった全国平均との差が、本年度は-4.2ポイントまで縮まり、全体的な底上げが図られている。
- B問題では、全設問で無回答率が全国平均を下回り、改善の傾向が見られる。
- 引用することや、文章の中から必要な情報を読み取る設問について全国平均との差が大きく、課題が見られる。

◆小学校算数について

- A問題では、全設問において、全国平均を上回り、全体的な底上げが図られている。
- B問題では、昨年度は全国平均以上の設問が13問中2問であったが、本年度は13問中6問となり、改善の傾向が見られる。
- A、B問題、全設問で無回答率が全国平均を下回り、改善の傾向が見られる。
- 課題であった小数や分数の計算、単位量あたりの大きさや割合の問題では、平均正答率が全国平均を上回ったり、差が縮小したりしており、成果が見られるが、図形の問題に関しては、課題が見られる。

◆小学校理科について

- 実験器具の名称を問うなど、基礎的・基本的な知識に関する設問では、平均正答率が全国平均を上回っている。
- 観察・実験の技能に関する設問に課題が見られる。
- 科学的な思考・表現を問う活用問題に課題が多く、実験結果や資料から考察し、自分の考えを記述したり改善したりする設問について、全国平均との差が大きい。

◆中学校国語について

- A問題では、昨年度は全国平均以上の設問が32問中1問であったが、本年度は33問中4問となり、改善の傾向が見られる。
- B問題では、個別の設問において、昨年度は最大で-6.6ポイントあった全国平均との差が、本年度は-4.3ポイントまで縮まり、全体的な底上げが図られている。
- 複数の資料から適切な情報を得たり、根拠を明確にしたりして自分の考えを書く記述式の設問では、正答率も無解答率も、全国平均との差が大きく、課題が見られる。

◆中学校数学について

- B問題では、個別の設問において、昨年度は、-3.0から-11.4ポイントだった全国平均との差が、本年度は-1.4から-8.5ポイントとなり、改善が見られる。
- A問題の連立二元一次方程式の立式にかかる問題では、全国平均を4.5ポイント上回ったものの、A・B問題のほとんどが、全国平均を下回る平均正答率で、依然として課題がある。
- 数と式の領域においては、昨年度と比較して、平均正答率の全国平均との差が縮まる傾向が見られるが、図形、関数、資料の活用の領域では、依然として課題が見られる。

◆中学校理科について

- 動物や物質の名称を問うなど、基礎的・基本的な知識に関する設問では、平均正答率が全国平均を上回っている。
- 科学的な思考表現を問う活用問題では、全国平均との差が大きく、記述式の設問では無解答率も高い傾向が見られる。無解答率が3割を超えるものが3問ある。
- 解明したい課題に即して適切に実験を計画することや結果を解釈することに関して課題が見られる。

(2) 児童生徒質問紙の結果から【○成果 ●成果及び課題 ●課題】

◆自己意識と生活の様子について

- 友達との関係、自尊感情や規範意識に関する項目について、肯定的な回答をした児童生徒の割合が引き続き高い。
- 今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合が、引き続き県平均、全国平均よりも低い。

◆家庭での学習・生活について

- 家で、学校の宿題をしている小学6年生の割合は96.8%であるが、中学3年生の割合は86.5%である。復習については小学6年生55.4%、中学3年生38.0%である。小学6年生は肯定的回答の割合が高く、改善が見られるが、中学3年生は肯定的回答の割合が低い傾向にあり、課題がある。
- 月曜から金曜までの学校の授業以外の学習時間や土曜日、日曜日の学習時間については、小学6年生は全国よりも長く、中学3年生は全国や県よりも短い。
- 生活習慣に関する設問の中で、朝食摂取や就寝時刻に関して肯定的な回答をした中学3年生の割合は、県や全国より低くなっている。

◆学校での学習について

- 算数・数学への関心等に関する設問では、肯定的な回答が高くなっている。
- 小学校では、授業中のめあての提示、話し合う活動や振り返る活動の設定について、肯定的な回答の割合が高くなっており、授業改善が進んでいることがわかる。
- 中学校では、授業中の話し合う活動、発表の機会の設定について肯定的な回答の割合が、県や全国よりも低く、それに伴い、授業などで自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることに苦手意識をもつ生徒の割合が高くなっている。

(3) 考察

- ◇授業改善、朝学習、放課後学習などの補充学習や家庭学習の充実の成果が小学校では見られ、平均正答率の上昇や無解答率の低下につながったと思われる。小中連携を進める中で、効果のあった取組を中学校にも広げる必要がある。
- ◇どの教科でも、条件に合わせたり、根拠をはっきりさせたりしながら、自分の考えや説明を表すことに課題が見られる。授業の中で、表現する目的や相手をはっきりとさせるとともに、根拠を明確にして書く活動を設定していくことが大切である。
- ◇春休みの課題の類題については、平均正答率が高くなっており、適切な時期に繰り返し復習をすることが確実な学習内容の定着につながっていると考えられる。
- ◇学習内容の確実な定着のための家庭学習の内容や方法が児童生徒に身に付くよう、時間の使い方、メディアとの関わり方、等の家庭での生活についての指導を充実していく必要がある。

